

関西大学北陽高等学校・北陽中学校 2022年度学校評価報告書



2023年3月

目次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	4
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	5
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	6
4 アンケート結果の分析について	7
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	12
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
	関西大学副学長 社会安全学部 教授 高橋智幸
6 校長の意見書	14
7 アンケート結果	15

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922年6月5日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから3年後の1925年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1944年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2023年の4月には関西大学北陽高等学校第16期生、関西大学北陽中学校第14期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者とともに生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上」項目で保護者対象アンケート肯定率 75%、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 ・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 75%以上 	<p>学力向上とスローラーナーに対して、ICTの活用、また、小テストや課題テストで学力チェックを行い、補習授業や個別指導を実施した。中学校では、クラウド型学習システムの導入と、スローラーナーだけではなく、学力上位層への補習も行い、効果を上げ、模擬テストの成績も上昇している。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><学力向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象：80% (○) 生徒対象：76% (△) ・(中学校)保護者対象：80% (○) 生徒対象：87% (○) <p><スローラーナー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象：69% (△) 生徒対象：71% (△) ・(中学校)保護者対象：69% (△) 生徒対象：85% (◎) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>昨年は、学力向上、スローラーナーの項目とも、評価指標の目標値を上げたが、すべての項目で達成できた。2022年度は、特に、スローラーナーに対する評価が下がっている。教員は、補習授業や個人指導を行いたい、精力的に行えていないと感じており、その時間を持てるような働き方改革も進めていきたい。</p>
<p>イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上 ・国公立大学に 10名の合格 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>関西大学への内部推薦合格率 90%以上を目標に、学力向上を図り、大学説明会、学部説明会、学部連携セミナー、「関大の知にふれる」など大学の学びを知るプログラムを実施した。その中で、2023年度入試から英検のスコアが評価項目となるため、今まで以上に4技能習得のための授業を展開した。</p> <p>また、国公立大進学へのモチベーションアップのための進路指導を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学への内部進学率96% (◎) 希望者269名中 257名合格 ・東京工業大学1名 神戸大学1名 大阪公立大学1名

	京都工芸繊維大学 1名 九州歯科大学 1名 神戸市看護大学 1名 大阪教育大学 1名 兵庫県立大学 2名 奈良県立大学 1名 既卒者 2名含む 10名合格 (△)
	【今後の改善方策(Action)】 関西大学への内部進学率が初めて目標の90%以上を達成した。大学の学びを知るプログラムにおいては、卒業生の協力を得て、大学をより身近に感じることができるようしていく。今後も、2022年度の実践を改善し、目標が達成できるように取り組んでいきたい。

(2) 重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。 【評価指標】 ・授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率90%	【取組状況(Do)】 整備されたICT環境のもと、iPadを利用し、授業においては、授業支援アプリ「ロイロノート」を活用し、生徒参加、対話型の授業を展開した。また、「ロイロノート」の活用をテーマにした公開授業を行い、研鑽を積んだ。
	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <授業評価「生徒参加・対話型の授業」> ・高校生アンケート：94% (○) ・中学生アンケート：94% (○)
	【今後の改善方策(Action)】 高校生、中学生とも高い評価となっているが、これに満足せず、中学生の「総合学習」、高校生の「総合的な探究学習」を通して、主体的・対話的な深い学びを深めるとともに、5教科や実技教科の授業にも、探究的なアプローチを取り入れ、主体的・対話的な学びを進めていきたい。
イ 探究学習を推進し、生徒の思考力や判断力、表現力を育成する。	自己評価 【取組状況(Do)】 学習指導要領改訂に伴い開講された高校1年生の「総合的な探究の時間」高校2年生グローバルクラスの「探究SDGs」に向けて、昨年度は、ワークショップを含む4回の教員研修を実施

<p>【評価指標】</p> <p>・「総合的な探求の時間」「探究SDG s」実施に向けて、教員研修を実施する。</p>	<p>した。2022年度は、探究学習の評価「ルーブリック」をテーマに、関西大学教育推進部による教員研修を実施した。</p>
	<p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p>6月に90分の教員研修を実施 (○)</p>
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>2022年度の高校1年生「総合的な探求の時間」の授業内容、取り組みを振り返り、より効果の上がるシラバスを構築し、改善していく。また、「ルーブリック」の教員研修をいかし、ルーブリック評価を活用し、生徒への探究学習のフィードバックを行う。</p>

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 英語教育による基礎・基本を徹底し、コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年の合格目標を英検準2級以上25%、3級以上85% ・ 高校3年の合格目標を英検2級以上40%準2級以上80% 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校では、2023年度の内部推薦入試から英検のスコアが評価項目となるため、英語科においては、検定教科書の習得と4技能の向上を目標に指導した。具体的には、ネイティブ講師とのTT授業の充実やオンライン英会話、また、スピーキングを強化するために、主体的に活動する場を増やした。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年 準2級以上38% (◎) 3級以上88% (○) ・ 高校3年 2級以上58% (◎) 準2級以上84% (○) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>評価指標については、中学校の準2級(15%→25%)、高校の2級(30%→40%)の目標数値を上げたが、それを大きく上回り、今年度の取組みの成果が出ている。</p> <p>今後も、4技能をバランスよく指導し、2023年度に開設されるグローバルクラスにおいては、高い英語力を身に付ける指導をしていきたい。</p>

<p>イ 国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバル・リーダーを育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <p>・教員対象<組織面>アンケートの「国際化」項目で肯定率60%以上</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>イングリシユキャンプ(中1)エンパワーメントプログラム(高1、高2)オーストラリア・ケアンズ海外研修(中3)を希望者対象に実施した。国際教育部、英語科、社会科が連携し、高校2年生、3年生のグローバルクラスの教育内容とプログラムを検討した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p>・教員対象<組織面>アンケート 「国際化」項目 肯定率64% (○)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>教員対象「国際化」項目については、昨年度は未達成であったが、2022年度は達成でき、組織的に取り組めつつある。今後予定されている国内プログラム(中学2、高校2)や海外プログラム(中学1、高校2)、留学生の受け入れを通して国際理解教育を教員に浸透していきたい。</p>
--	--

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する</p> <p>【評価指標】</p> <p>・「中高大連携授業の実践」項目で保護者対象アンケート肯定率80%以上、生徒対象アンケート肯定率85%以上</p>	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>昨年度は、感染症の拡大により、計画されていた関西大学との中高大連携プログラムのうち、防災プログラム(中1)関大を知ろう(高1)が中止になった。今年度は、感染防止対策を講じながら、すべてのプログラムが実施できた。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><中高大連携授業の実践></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象アンケート：88% (○) 生徒対象アンケート：85% (○) ・(中学校)保護者対象アンケート：82% (○) 生徒対象アンケート：89% (○) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>昨年より生徒アンケートの評価指標の数値を上げ、2年連続、目標を達成できた。また、新たに実施した経済学部、社会安全学</p>
---	--

	部、化学生命工学部との連携セミナーでは、卒業生に登壇してもらったが、生徒の反応もよく、他のプログラムでも実施していきたい。
<p>イ 関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導」項目で高校保護者対象アンケート肯定率70%以上 高校生対象アンケート肯定率80%以上 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>大学進学後、イメージした学部、学科の内容と違うというミスマッチが起こらないように、大学との連携授業や連携セミナーなどを通して、学部の志望理由の明確化を第一に、進路指導を行った。2023年度から内部推薦入試制度が変更になったことから、生徒、保護者への説明を丁寧に行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×)</p> <p><進路指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(高校)保護者対象アンケート：80% (◎) 生徒対象アンケート：84% (○) <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>関西大学への内部推薦制度の変更による課題を検討し、校内選考の新たな方式の導入など各学部定員枠を満たす方策を考えたい。また、国公立大学志望者には、卒業生による体験談や大学訪問などを通してモチベーションをあげていきたい。</p>

3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を14項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ② 「保護者対象」および「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ13項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の3種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、

ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」および「組織」 12月12日（月）～12月19日（月）

II 保護者対象学校評価

全学年 1月10日（火）～1月23日（月）

III 生徒対象

全学年 1月10日（火）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析

◆ 中高教員対象 学校評価＜組織面、個人面＞

・組織面の自己評価項目の平均

2020年：2.96 2021年：3.01 2022年：2.99

・個人面の自己評価項目の平均

2020年：3.16 2021年：3.21 2022年：3.14

組織面、個人面の自己評価項目の平均とも、2019年～2021年の3年間は、上昇したが、2022年は少し下降した。組織面で特徴的なのは、HPの活用が0.17ポイント上昇しており、広報部が、本校の取組を積極的にHPにアップしていることが要因と考えられる。一方、生徒指導方針の一貫性と社会規範の理解、モラルの醸成が0.2ポイント以上下がっており、組織的な生徒指導を課題の一つとして取り組んでいきたい。また、組織面の自己評価と個人面の自己評価の差は、例年0.2ポイント程度であるが、2022年度は0.15ポイントと差は縮まっているが、自己評価の高い傾向は続いている。

(1) 学校運営について

①ミドルマネジメントによる組織運営 <組織面>

「主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2020年：2.81　2021年：2.74　2022年：2.80

②会議の有効性　＜組織面＞

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2020年：2.87　2021年：2.77　2022年：2.84

ミドルマネジメントによる組織運営の評価は、D評価が4.9%と低く、2.80ポイントになり、以前の評価に近づいている。また、会議の有効性についても、D評価が1.6%と低く、2.84ポイントとなり、同じような傾向である。個人面の評価においては、3.20、3.16と高く、教員間の連携、会議への参加に積極的であり、組織面と個人面の差はあるが、以前より縮小しており、面談による先生方の意見の吸い上げは、少しずつではあるができていくように思われる。

(2) 教育内容について

・学力向上における組織的な取り組み、スローラーナーへの対応

学力向上への組織的な取組の組織面の評価は、2.85と一昨年の評価と同じであった。昨年は、2.92ポイントでD評価が0%であったが、2022年は、4.9%となった。また、スローラーナーへの対応については、2.67ポイント、個人面の評価でも2.52と、近年では最も低い評価となった。中学校では、eラーニングと補習、放課後の個別指導、中学3年生での習熟度別授業、高校では、数学で習熟度別授業を取り入れるなど、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っているが、新たな取り組みの導入がなされていないことが影響していると考えられる。

(3) 生徒指導について

・家庭との連携状況

2020年からのコロナ禍も3年目になったが、ようやくその終わりが見えてくる。コロナ禍の3年間は、以前よりも増して、家庭との連携は不可欠である。家庭との連携状況では、組織面、個人面の自己評価とも、3.0ポイント前後と高い評価となっており、オンライン授業や、電話だけでなくメールによる家庭への連絡も高い評価につながっていると考えられ、家庭との連携体制も整いつつある。

(4) 生徒支援について

・進路指導体制、部活動支援状況、学校行事体制

上記3項目については、2022年度も、組織面、個人面の自己評価とも、3.0ポイントを上回り、2020年から高い評価が続いている。関西大学への内部進学における卒見者入学試験において、入試制度の変更があったが、組織的にも個人的にも、生徒、保護者に周知できた結果だと考えられる。部活動、学校行事については、今まで同様、感染防止対策を講じながら、「どうすればできるか」を考え、生徒が主体的に取り組めるように工夫しながら実施している。

◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

(1)「学校評価重要8項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：高い評価で推移し、全体およびA評価の割合ともに増加している。(3.42)

生徒：昨年よりも下降したが、一昨年と同程度を維持している。(3.20→3.13)

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2020年度以降は、3.00以上の評価で推移している。(3.09→3.13)

生徒：昨年よりも下降したが、一昨年と同程度を維持している。(2.94→2.84)

③知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：2020年度からは上昇傾向で、3.00以上の評価が得られた。(2.98→3.08)

生徒：3.00以上にまで上昇傾向であったが、今年度は下降した。(3.16→2.99)

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2018年度から上昇傾向であったが、今年度は横ばいであった。(2.85)

生徒：3.00以上にまで上昇傾向であったが、今年度は下降した。(3.06→2.94)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：大きな変化がなく、3.00以上の高い評価で推移している。(3.10→3.25)

生徒：A評価が多いまま、3.00以上の高い評価で推移している。(3.08→3.29)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：ほぼ横ばいであったが、2020年度から上昇傾向に転じた。(3.08)

生徒：やや下降したが、3.00以上の高い評価で推移している。(3.03→3.27)

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：大きな変化がなく、3.10以上の高い評価で推移している。(3.17→3.23)

生徒：2020年度以降は、3.30以上の高い評価で推移している。(3.30→3.36)

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：やや下降傾向にあったが、今年度はやや上昇した。(3.09→3.12)

生徒：大きな変化がなく、3.20以上の高い評価で推移している。(3.26→3.33)

(2) 分析

上記「学校評価重要8項目」について、保護者による評価では、ほとんどの項目で上昇している。7項目で3.00以上の評価(3.08～3.42)となり、学園生活の満足度や学力向上の取組、進路指導などは2019年度以降上昇が続いている。学校行事についても上昇に転じてコロナ禍前の評価に近づいている。オンライン授業を含むきめ細かな指導や、学校行事およびクラブ活動の活性化などが評価されていると考えられるが、スローラーナーへの対応だけが3.00以下の評価(2.85)であり、追指導の対象とまではならない層へのフォローが必要と考えられる。生徒による評価では、昨年度をピークに全項目で下降(0.01～0.17)している。その中で、一昨年度よりも下降しているのが学力に関する2項目である。1, 2年生の実力テスト結果や3年生の関西大学内部進学率は、むしろ上昇傾向である。今年度からのコース改編なども勘案し、学年別および内外部生別などの分析を行った上となるが、成績下位層への対応が必要であろうことが考えられる。クラブ活動や学校行事については、コロナ禍前よりも高い評価で推移してお

り、制限がある中でもできる活動が続けてきた成果がうかがえる。

◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①学園生活の満足度

保護者：2019年以前は3ポイント程度であったが、2020年を境に本年度まで上昇傾向となる。また、過去5年間で最高ポイントとなる。

生徒：過去5年間で右肩上がりのポイントとなり、年々上昇傾向が見られ、本年度は過去最高の3.39ポイントとなる。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：過去5年間でB評価が極端に多く、3ポイント以上をキープしているが、本年度は昨年度より少し減少し、3.21ポイントとなる。

生徒：2018年度から2021年度まで上昇傾向であり、本年度は、3.01ポイントと昨年度と同等となる。

③知育（学力向上における組織的な取り組み）

保護者：2019年度を底に上昇傾向であったが、2021年度を最高に本年度は少し減少傾向となる。

生徒：過去5年間の推移をみると上昇傾向がうかがえる。また、3.34ポイントと最高ポイントとなる。

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021年度を最高に本年度は、2020年度同等まで減少となる。補習授業の見直しが必要と思われる。

生徒：過去5年間の推移は、上昇傾向である。特に2021年度は、最高ポイントとなり、本年度は少々下降したが、生徒たちのA評価が50台と3年連続となる。

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2019年度より推移をみると、3.0ポイントを維持している。2021年度から少しの減少がみられるが、ほぼ同等ポイントと考える。

生徒：一方、生徒は、過去5年間で上昇傾向が見られ、2022年度は最高ポイントとなる。学校での継続的な指導が生徒たちには浸透してきているとみられる。

⑥進路指導

保護者：A評価が極端に少ないが年々上昇傾向である。過去5年間の推移は、右肩上がりとなり本年度は少しの減少となっている。

生徒：2018年度から上昇し、2019年度以降3.0ポイント以上の上昇傾向であり、本年度は、最高のポイントとなる。

⑦部活動支援

保護者：2018年度から2021年度まで上昇傾向である。本年度は、少し減少となる。また、2020年度以降は、A評価の上昇が目立つ。

生徒：2017年度から年々上昇傾向であり、2021年度は、3.40ポイントと最高値であっ

たが、本年度は少々下降となる。

⑧学校行事指導体制

保護者：過去3ポイント台と上位で安定しており、上昇傾向であったが、

2020年度は、新型コロナウイルスのため学校行事が大幅に減少し評価することが難しくなっていると思われるが、本年度は、何とか行事をしたいという学校の考えが伝わっているようである。

生徒：2021年度まで微動であるが、上昇傾向であったが、本年度は、若干の減少がみられる。

(2) 分析

全体として昨年度よりほとんどの項目で、評価ポイントが、減少傾向となる。補習指導や学力向上は、保護者が減少傾向に対し、生徒は以前より上昇が鈍化しており、保護者と生徒間のギャップがまだまだ感じられる。生徒の家庭での報告がまだまだできていないと思われる。学力に関する評価項目では、生徒本人が学習に対する意識が少し向上してきている。

中学生の学校の教育方針が低迷であったが、A評価の人数が年々増加しているのがうかがえる。少しではあるが浸透してきているようである。教員が子供の教育のために信念を持っての指導を心がけているものの、保護者と生徒間で方針の理解度に差がみられていたが、徐々に少なくなっている。継続的に生徒に対し学校方針を理解してもらう機会を多くし、保護者も今後学校と共に協力していただくことが必要と考える。

進路指導については、毎年生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中3での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して個別に話はしているが、生徒と保護者の家庭での会話を期待する。

クラブ活動においては、保護者の方は、B評価が目立っていたが、2020年度よりA評価の上昇が目立つ。逆に生徒たちは、A評価が最も多く、支持されている。保護者と生徒間でのとらえ方にギャップが生じている。

学校行事については、クラブ活動同様に保護者はB評価が多く、生徒はA評価が目立つ。直接行事にかかわる生徒の評価が高いが、中学生になると小学生の時より保護者が学校とかかわる時間が少なくなることが一因と考えられる。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、教員の自己評価と重要8項目について保護者、生徒対象アンケートの分析を行い、意見交換を行った。

教員の組織面の学校評価でHPの活用の評価が0.17ポイント上昇した。委員からは、ホームページに加えてInstagramでも学校の情報が発信されており、アカウントをフォローしていれば自動的に情報を得られることが利点だと感じている。また、クラブの試合結果など、Instagramの投稿をきっかけに親子で話をする事が多く、学校からの情報発信が家庭での話題作りにつながっているという意見があった。委員からは、コロナ禍の前後で、アンケート結果に差は見られるか、について質問があった。各教員が、コロナ禍を契機に危機感を持って取り組んでおり、多くの項目で、コロナ禍以前よりも評価は改善していると説明した。委員からの要望としては、iPadを活用したスローラーナーへの対応と保護者を含めた生徒の学習状況の共有があげられた。さらに、委員から「ハラスメントに関する研修」の評価が低下している点について、本学におけるハラスメントの防止体制について説明するだけでも、研修として十分な効果があるとの助言があった。

高校の保護者対象、生徒対象のアンケート（重要8項目）においては、委員から、肯定的評価だけでなく否定的評価も含めてグラフ化するように、修正が必要であると指摘があり、今年度の報告書から修正した。また、学力に関する項目で、特に高校1年生の評価が低い要因は何か、質問があった。高校2・3年生では成績不振者に対する補習をコース別に行っているが、コース変更で高校1年生では行っていないことが要因として考えられると説明した。

中学校の保護者対象、生徒対象のアンケート（重要8項目）においては、委員から、学校行事への保護者の参加に関する項目で評価が低下しているが、コロナ禍が収束し、保護者が学校に来る機会が増えることで、改善が期待できるのではないかと、という意見があった。生徒指導面では、挨拶をする生徒が多く、ルールやマナーに関する指導がなされていると感じていると、高い評価をしていただいた。

家庭への連絡は担任が行うのか。担任が行う場合、負担感はないか、意見交換を行った。内容によって、管理職者と担任が分担しており、特に若い世代の教員は、情報発信にITを活用するスキルが高く、負担は大きくないと思われると説明した。

続いて、P2～P6の2022年度の重点目標である ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす ②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成 ③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育 ④大学とともに取り組む「次世代の人材育成について」、取組状況、達成状況、今後の改善方策について、意見交換を行った。

その中で、国際理解教育について、語学研修には、どのくらいの生徒が参加するのか、海外から生徒を受け入れる取り組みを行っているのか、など具体的な質問があり、プログラムの教育効果について、活発な議論を行った。国際理解教育の推進は、重要課題と考えており、委員からのアドバイスをを受けて、国際貢献できる人材の育成を進めていきたい。

(2) アンケート結果について

外部評価委員として 2022 年度の評価について、2022 年度の学校教育計画、中高（教員対象）学校評価、高等学校（保護者対象・生徒対象）学校評価、中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」については、評価指標である「学力向上」に関する保護者対象アンケートの結果が、肯定率の基準 75%に対して、高校 80%、中学校 80%といずれも基準を上回っており評価できる。一方、生徒対象アンケートでは、肯定率の基準 80%に対して、高校 76%、中学校 87%と高校・中学校の差が大きく、高校では基準を下回っている。前年度は高校 83%、中学校 89%であり、特に高校の低下が大きい。自分の学力が向上していないと感じている高校生への支援を引き続きお願いしたい。

評価指標である「スローラーナーへの対応」に関する保護者対象アンケートの結果は、肯定率の基準 70%に対して、高校 69%、中学校 69%と若干下回っている。前年度は高校 71%、中学校 79%であり、特に中学校の低下が大きい。生徒対象アンケートでは、肯定率の基準 75%に対して、高校 71%、中学校 85%と上記の評価指標と同様に高校・中学校の差が大きく、高校では基準を下回っている。適切なフォローをしてもらっていないと感じている高校生への支援を引き続きお願いしたい。

関西大学への内部進学率は 96%と目標（90%以上）を上回っており、また国公立大学への合格者も 8名と目標（10名）をほぼ達成しており、成果が出ていると評価できる。

重点目標②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、評価指標である授業評価の「生徒参加・対話型の授業」が、肯定率の基準 90%に対して、高校 94%、中学校 94%といずれも基準を上回っており評価できる。「総合的な探究の時間」「探究 SDGs」実施に向けて教員研修を実施している成果が現れていると考えられるため、継続していただきたい。

重点目標③『『コミュニケーション能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育』については、評価指標である英検合格率が、高校 3 年生において 2 級が 58%、準 2 級以上が 84%、中学 3 年生において準 2 級が 38%、3 級以上が 88%といずれも目標（それぞれ 40%、80%、25%、85%）を達成しており、これまでの取組が成果として現れており、高く評価できる。また、組織面に関する教員対象アンケートの「国際化」では、肯定率の基準 60%に対して、64%と目標を達成している。語学研修や海外からの生徒の受け入れなどの意欲的な取組が先の英検合格率の向上にも寄与していると考えられるため、引き続き英語を使う環境整備に努めていただきたい。

重点目標④「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」については、評価指標である「中高大連携授業の実践」に関するアンケートの結果は、保護者対象では肯定率の基準 80%に対して、高校 88%、中学校 82%、生徒対象では肯定率の基準 85%に対して、高校 85%、中学校 89%といずれも基準を達成しており評価できる。また、評価指標である「進路指導」に関するアンケートでも、高校保護者対象では肯定率の基準 70%に対して結果は 80%、生徒対象では肯定率の基準 80%に対して結果は 84%といずれも基準を達成しており評価できる。引き続き、生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないよう、丁寧な指導をお願いしたい。

（関西大学副学長／社会安全学部 教授 高橋智幸）

6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

校長 田中 敦夫

重点目標 ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘のあった重点目標①、③、高校の保護者アンケートと教員アンケートの項目について、記載することとする。

重点目標①では、関西大学、国公立大学への実績づくりを目指しているが、苦戦しているとの指摘があり、以前には、数値目標の設定自体に問題はないか指摘もあった。関西大学への併設校であることから内部推薦の合格率90%は、どうしても達成したい目標として見直しは行わなかった。法人合併後、初めて実施された2011年度内部推薦入試から、合格率90%は一度も達成できなかったが、2023年度内部推薦入試において、合格率が96%となり目標を達成した。スローラーナーを含め生徒の学力向上を図りながら、大学の学びを知るプログラムを実施し、大学進学へのモチベーションを向上させた。また、進路指導部と学年団、担任との連携、保護者への適切な時期での進路説明会が、目標達成につながったと考えられる。

国公立大学への実績づくりについては、関西大学の併設校であり、中高大連携を進めることから、重点目標から外してはどうかという意見がある一方、両者に目を向ける大切さも提言いただいた。2021年度からは数値目標を15名から10名に見直し、関西大学への進学を重視した指導を行っている。

重点目標③では、外部評価委員からは、高校3年では2級以上、準2級以上のいずれも目標をクリアできなかったことが残念で、高校3年間を通して英語学習に関するモチベーションを維持、向上できるよう工夫していただきたいと指摘があった。2022年度は、英検のスコアが関西大学の内部推薦の評価項目となったことから、評価指標について、中学校の準2級(15%→25%)、高校の2級(30%→40%)の目標数値を上げたが、それを大きく上回り、4技能向上の取組みの成果が出ている。また、高校3年生の準2級以上の合格率も、目標数値を上回った。

高校の保護者アンケート項目で「教育方針の理解」と「学校行事」が、ややとはいえ下降していることは、生徒による評価が高いとはいえ、よりきめ細かい対応の余地があると意見をいただいた。2022年度は、両項目ともわずかに上昇しており、高評価の目安としている3.0ポイントを下回ることがなかった。コロナ禍が終わりに近づいており、対面での説明会や行事が増えつつあることも一因と考える。

教員へのアンケート項目で「ミドルマネジメントによる組織運営」「会議の有効性」についての評価の下降傾向が続いているとの指摘があった。この点については、4 アンケート結果の分析(1)学校運営について、参照していただきたい。

また、校内外における教員研修について不備を指摘する意見があったが、2021年度から改善し2022年度も4人に3人が肯定的意見となっている。今後も、教員研修の充実を図っていきたい。

7 アンケート結果

図表（2018年度～2022年度）

- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

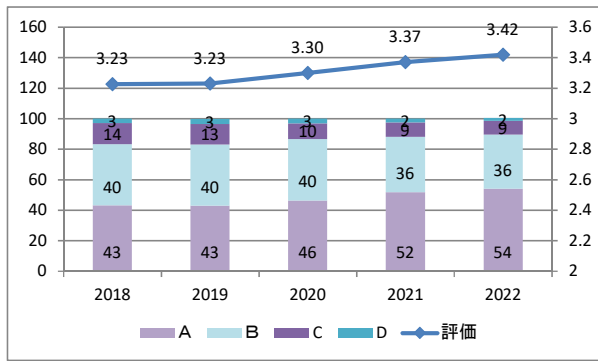
数表（2022年度）

- 資料1—1 学校評価 教員対象アンケート 〈組織〉
- 資料1—2 学校評価 教員対象アンケート 〈個人〉
- 資料1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去4ヵ年比較—
- 資料1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去4ヵ年比較—
- 資料2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料2—3 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去3ヵ年比較—
- 資料2—4 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去3ヵ年比較—
- 資料3—1 授業評価分析資料（教科別）
- 資料3—2 授業評価分析資料（高校・中学校別）

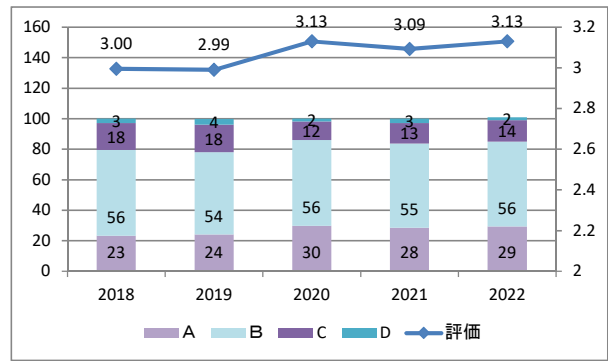
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2018年～2022年)

【グラフ ①】

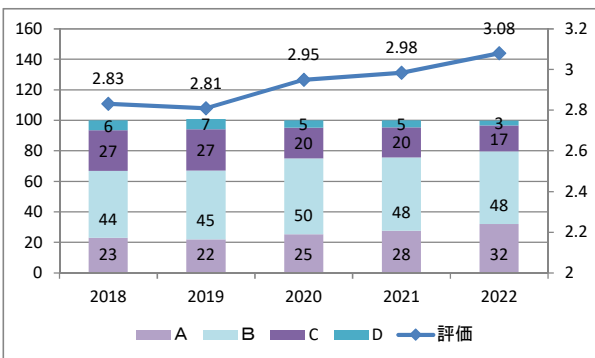
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



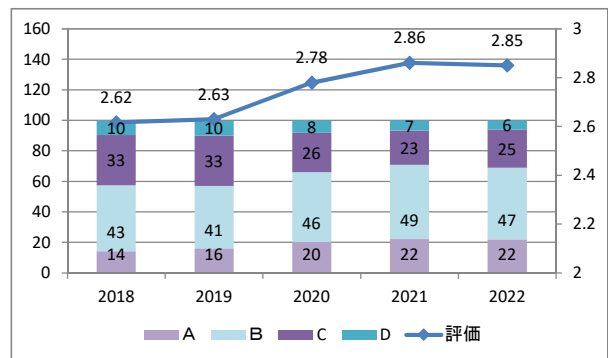
2 本校の教育方針を理解されていますか



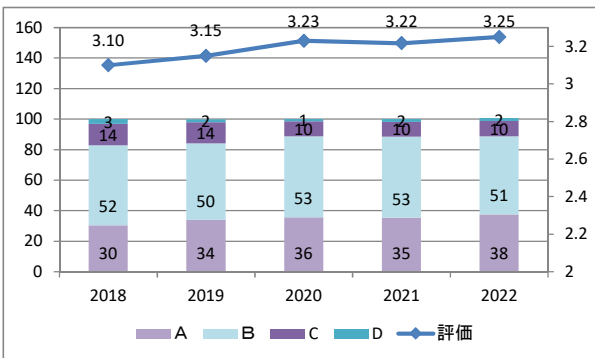
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



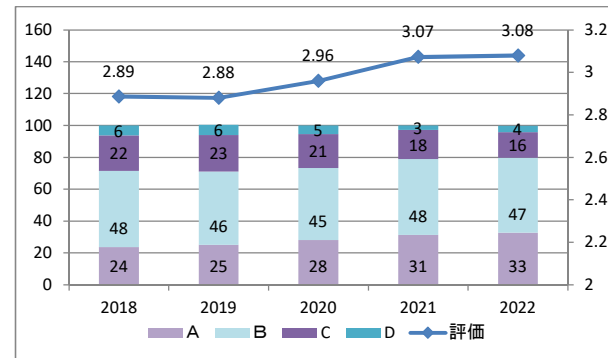
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



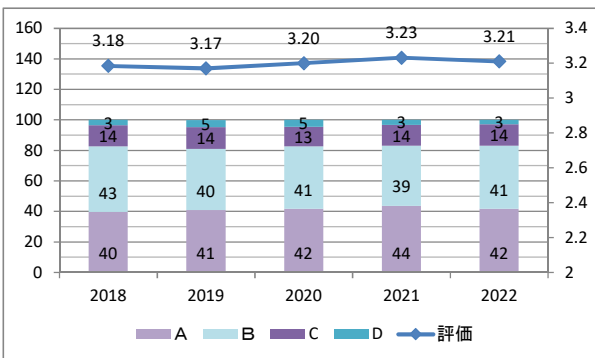
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



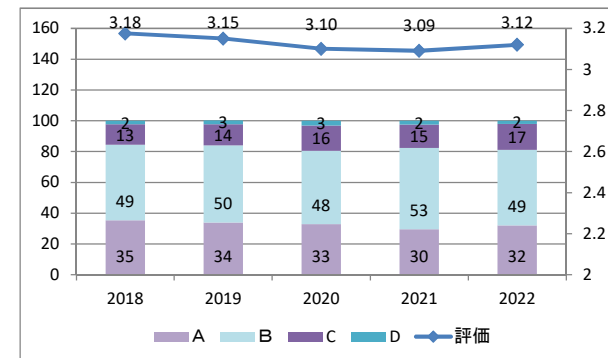
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。

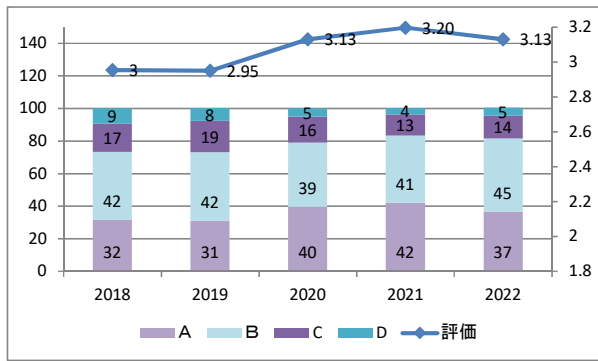
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

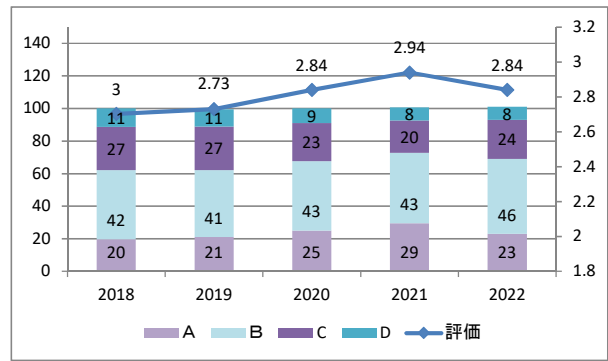
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2018年～2022年）

【グラフ ②】

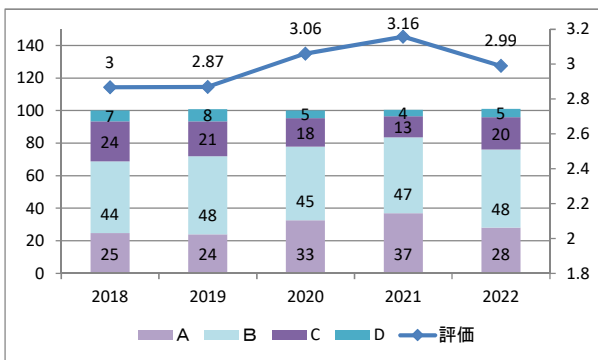
1 この学校に入學して良かったですか



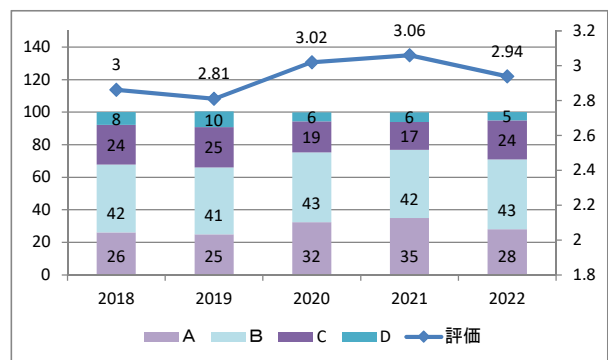
2 学校の教育方針を理解していますか



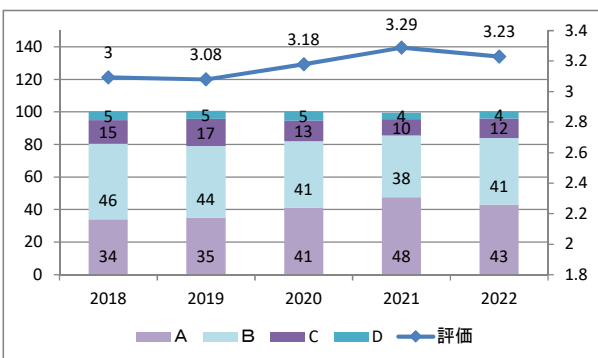
3 自分の学力は向上していると思いますか



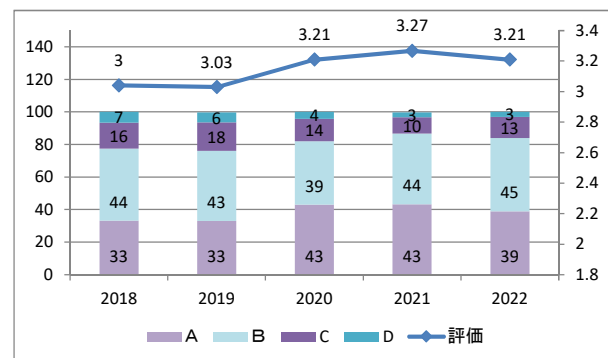
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



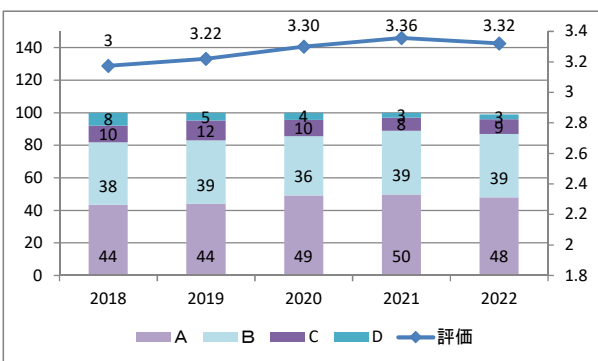
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



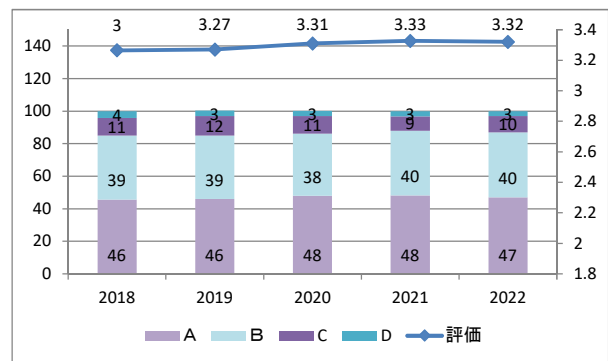
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



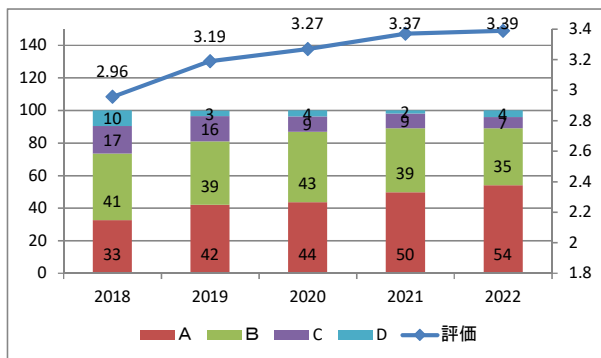
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

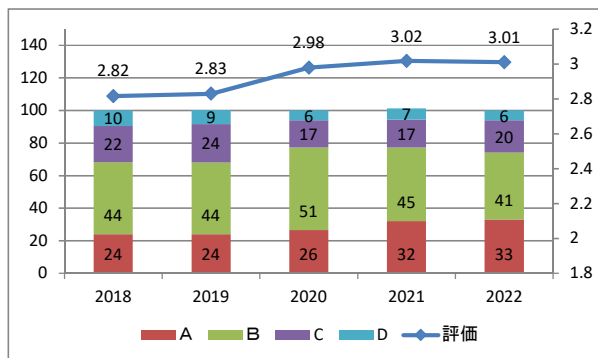
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2018年～2022年）

【グラフ ④】

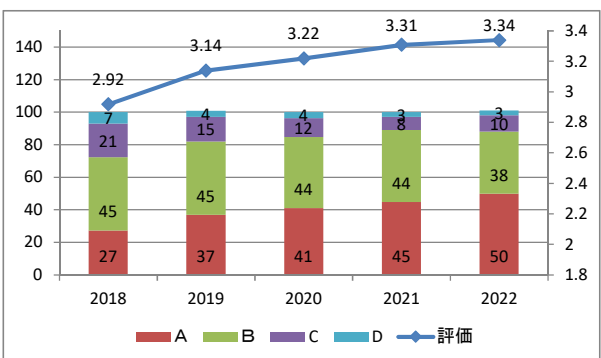
1 この学校に入學して良かったですか



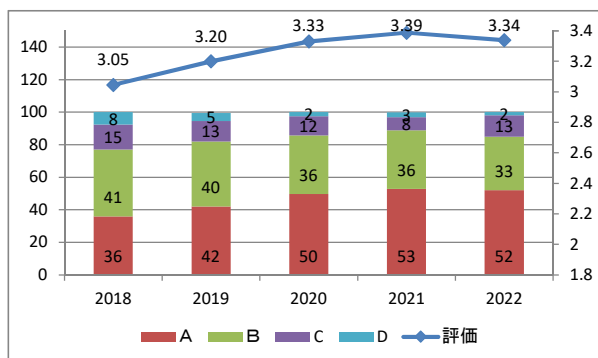
2 学校の教育方針を理解していますか



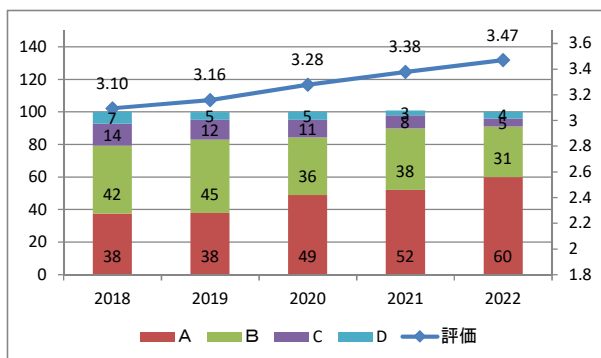
3 自分の学力は向上していると思いますか



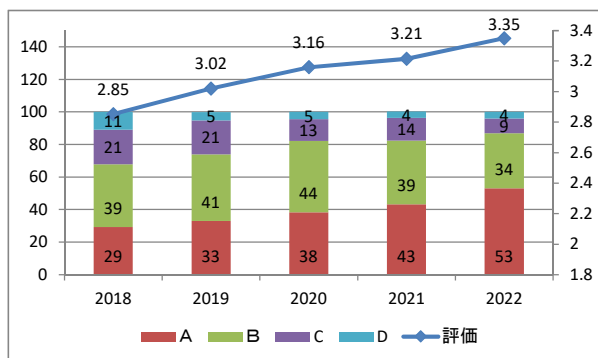
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



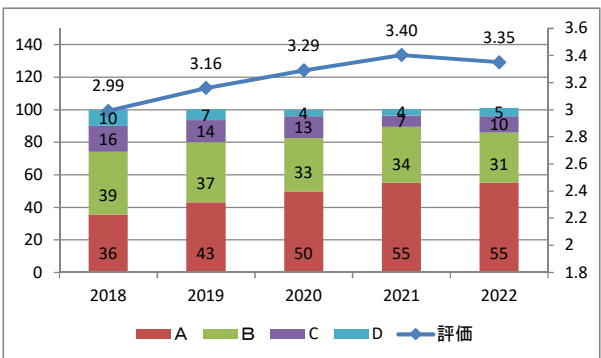
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



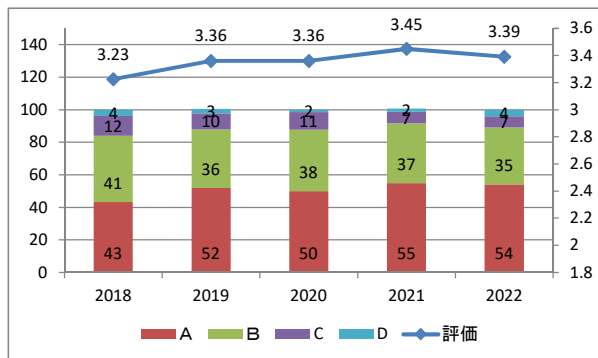
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



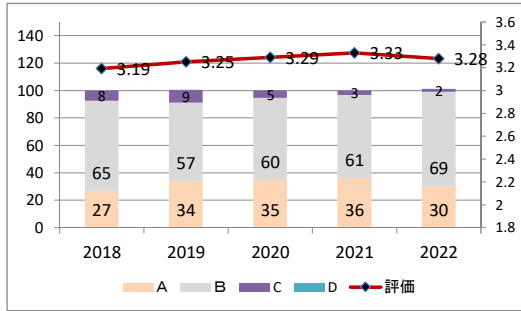
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

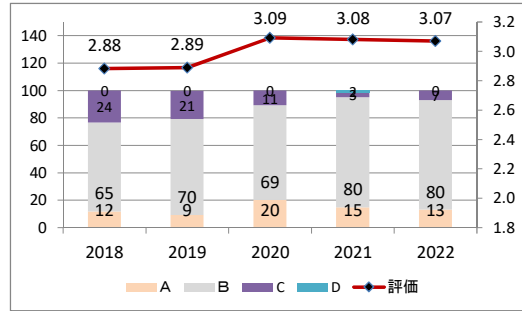
「学校生活の満足度」の推移（2018年～2022年）

【グラフ ⑤】

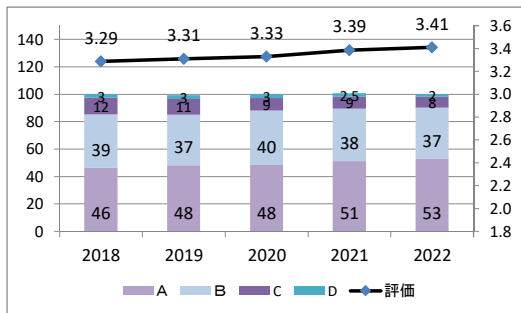
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



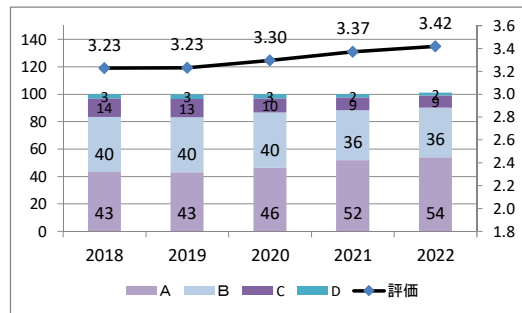
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



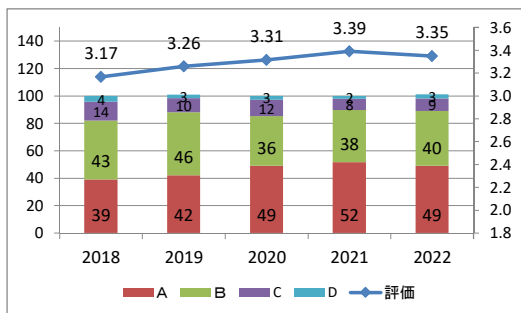
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



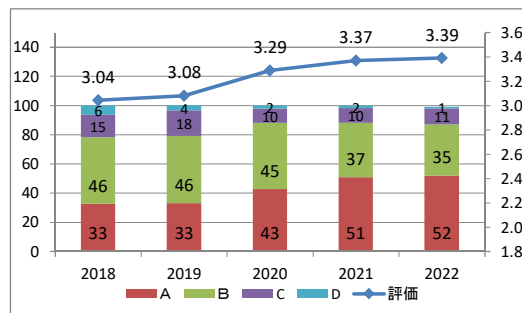
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



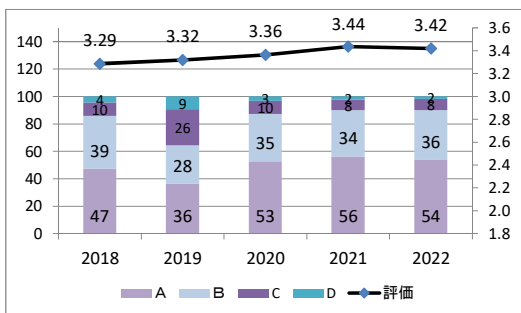
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



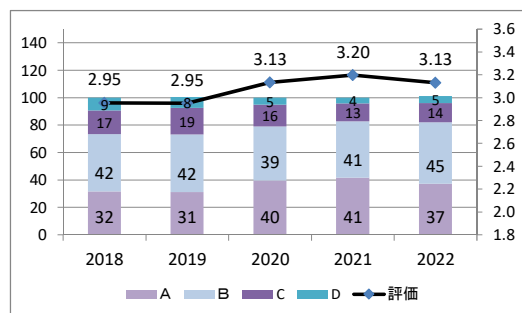
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



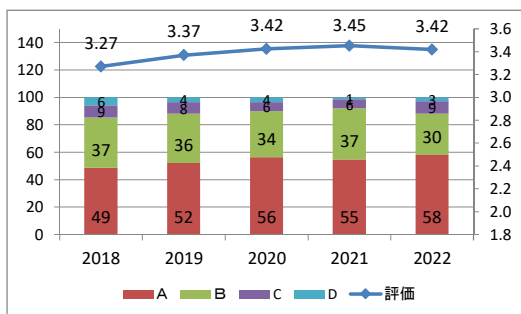
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



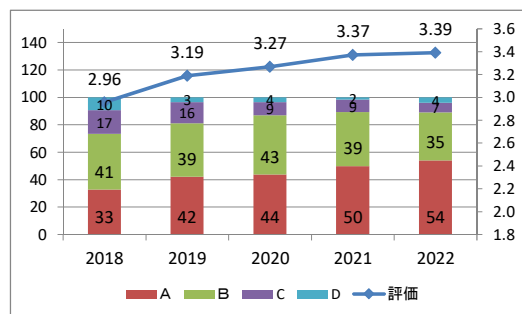
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。

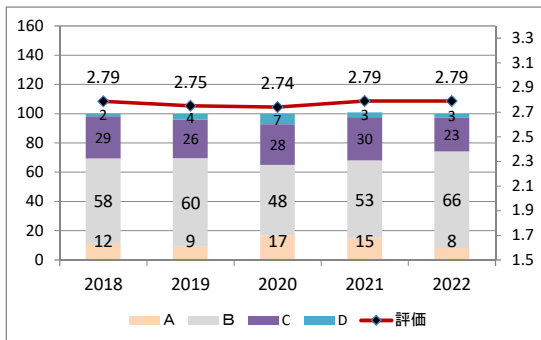
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

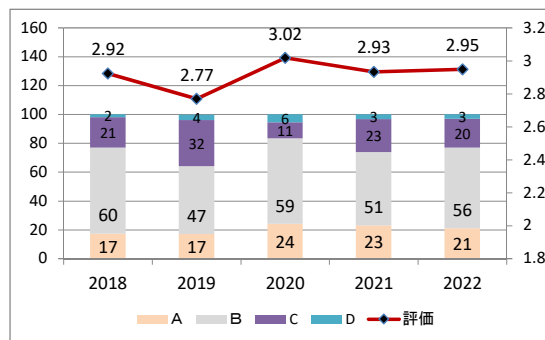
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2018年～2022年）

【グラフ⑥】

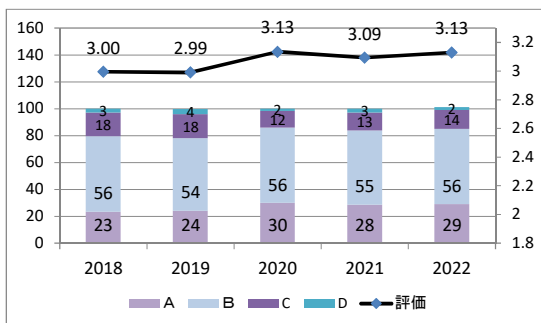
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。(教員組織)



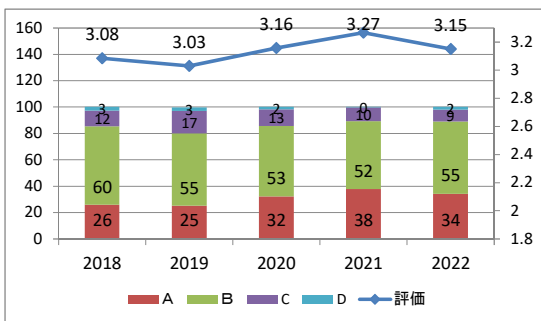
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。(教員組織)



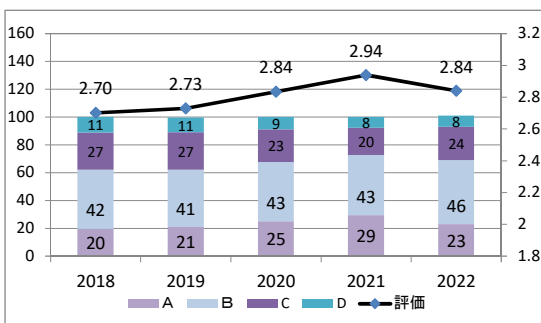
3. 本校の教育方針を理解していますか。(高校保護者対象)



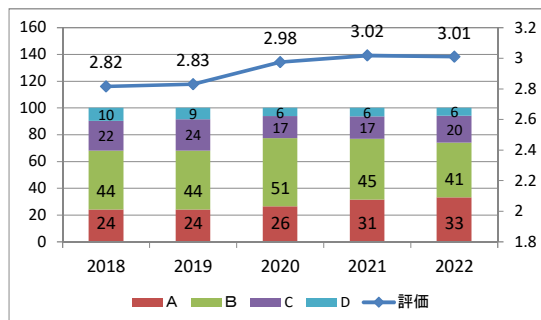
4. 本校の教育方針を理解していますか。(中学校保護者対象)



5. 本校の教育方針を理解していますか。(高校生対象)



6. 本校の教育方針を理解していますか。(中学生対象)

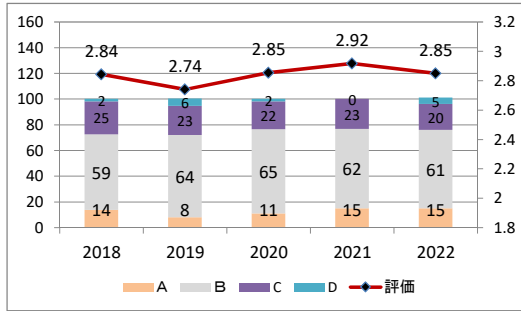


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

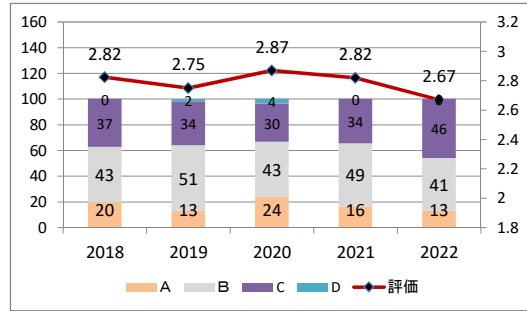
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2018年～2022年）【グラフ ⑦】

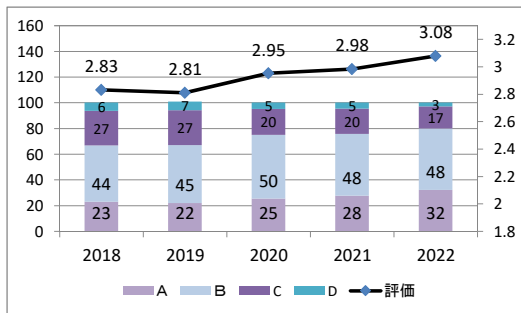
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



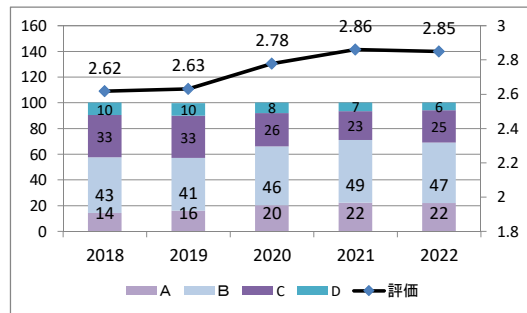
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



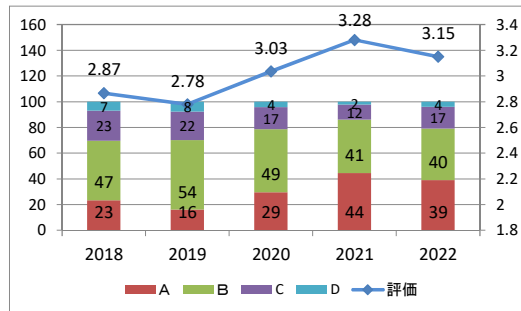
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



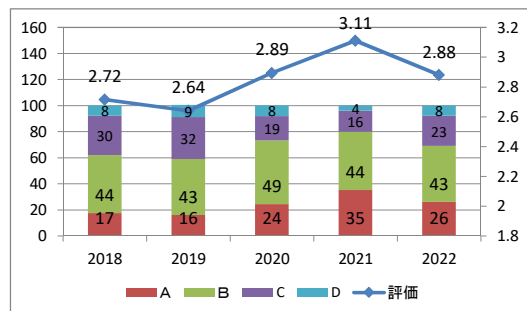
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



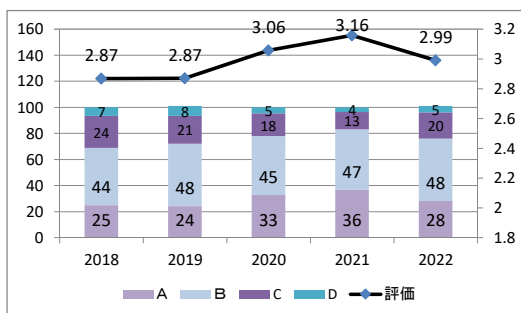
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



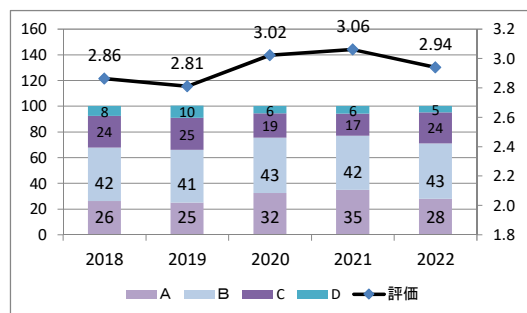
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



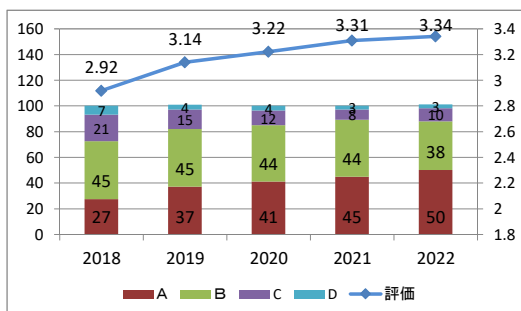
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



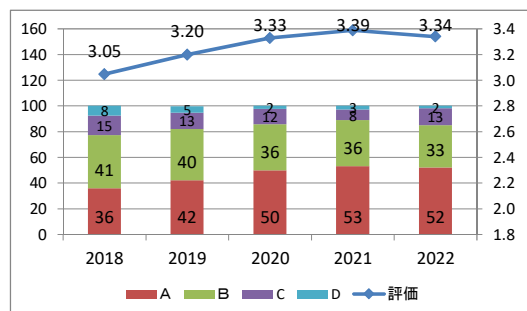
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)



10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)



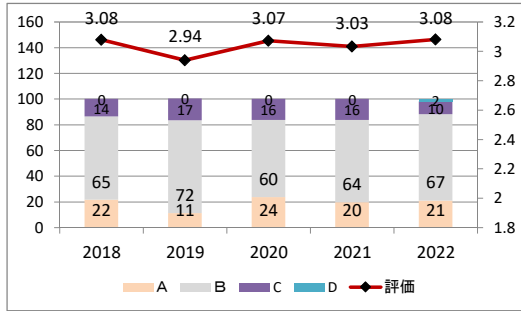
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

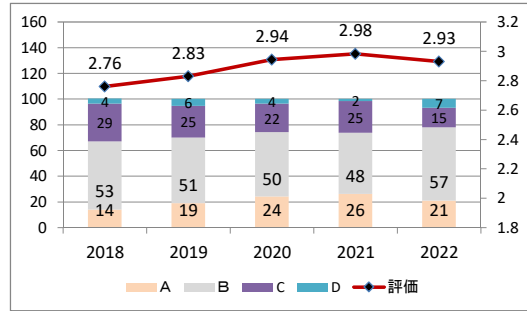
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2018年～2022年) 【グラフ ⑧】

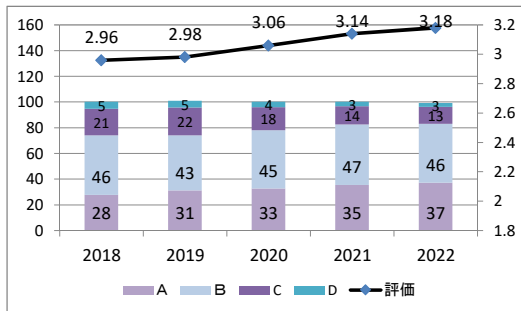
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



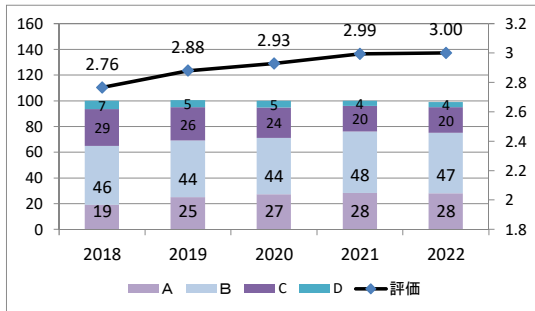
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



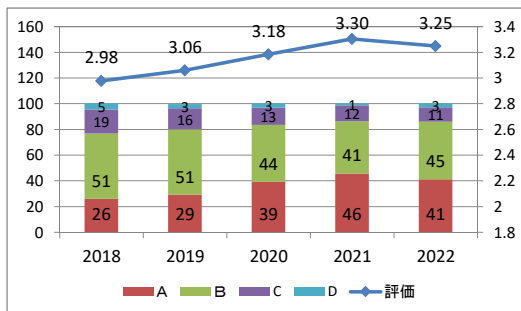
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



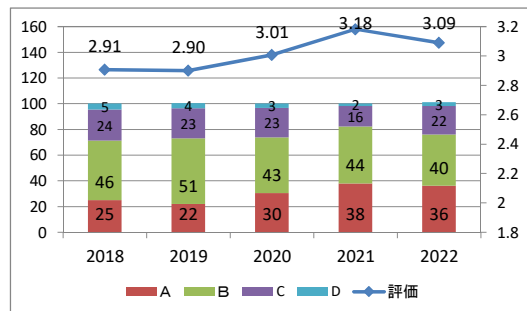
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



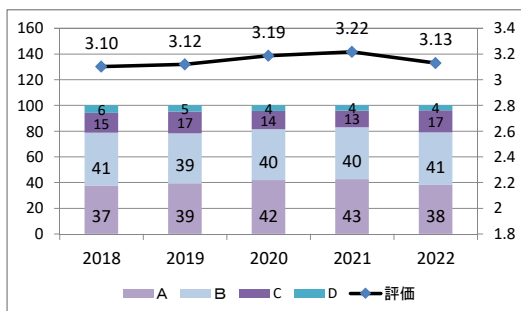
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



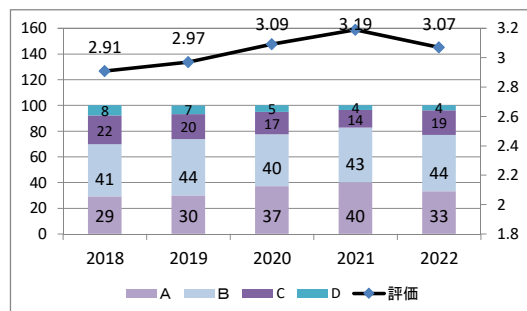
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



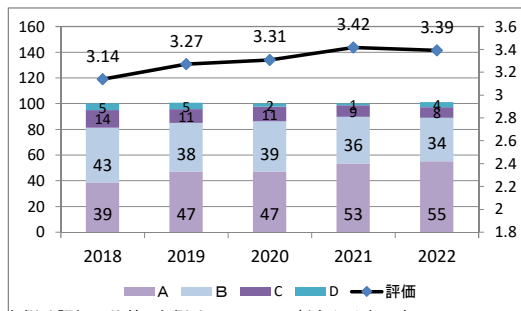
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



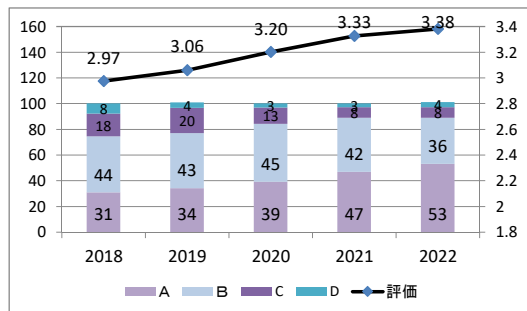
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)

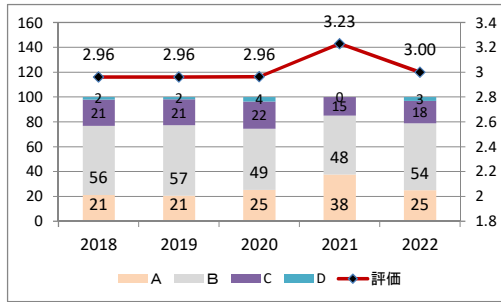


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・B・C・Dの割合(%)を示す。
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

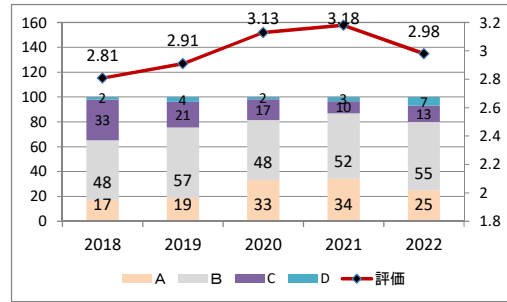
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2018年～2022年） 【グラフ ⑨】

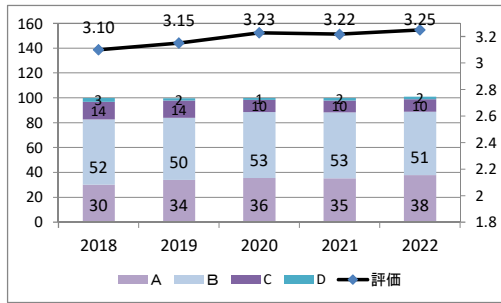
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



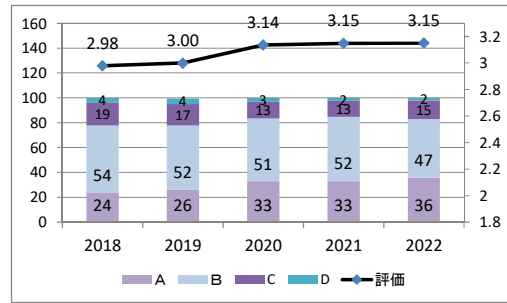
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



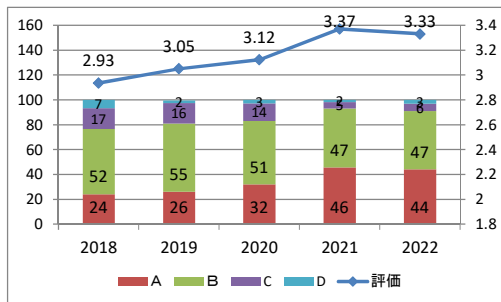
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



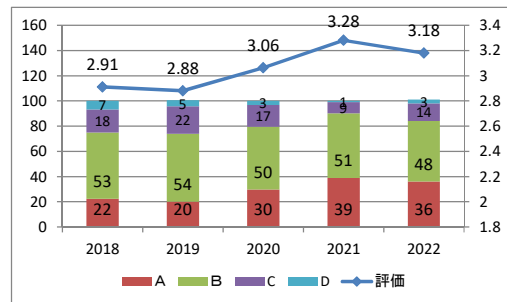
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



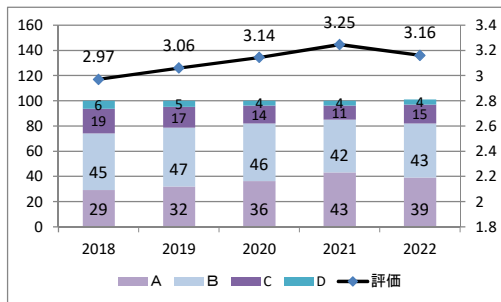
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



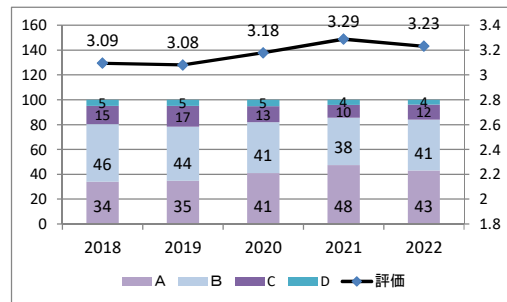
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



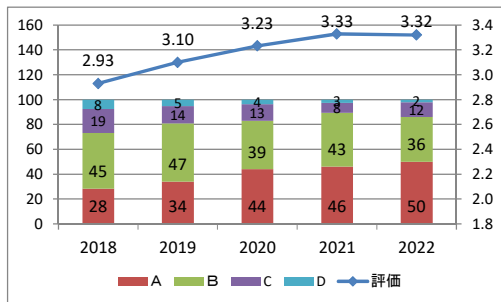
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



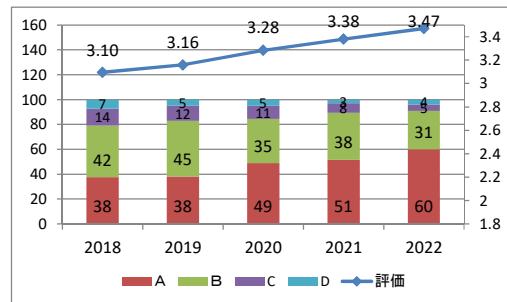
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

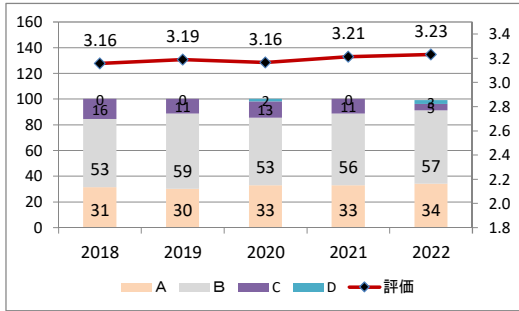
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (A \text{の回答数}) + 3 \times (B \text{の回答数}) + 2 \times (C \text{の回答数}) + 1 \times (D \text{の回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

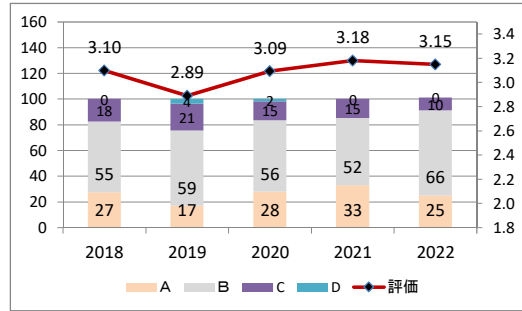
「進路指導体制」の推移（2018年～2022年）

【グラフ ⑩】

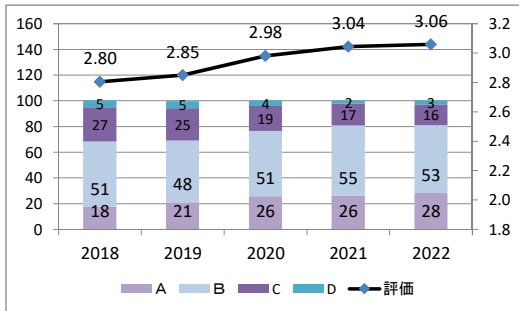
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている(教員組織)



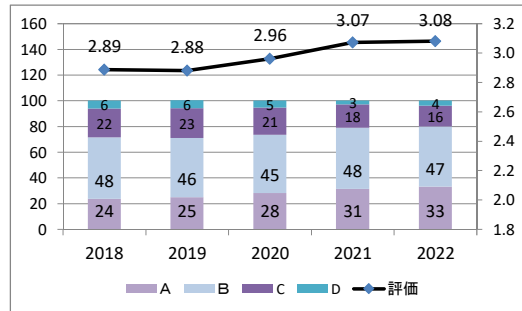
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である(教員組織)



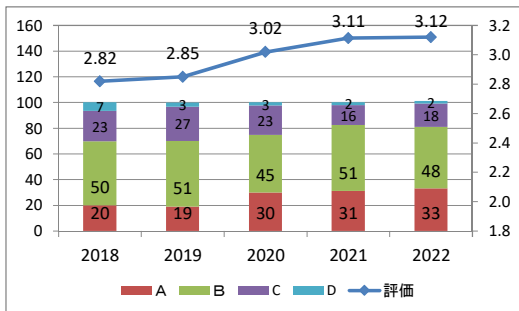
3 カウンシングを受けられることを知っていますか(高校保護者対象)



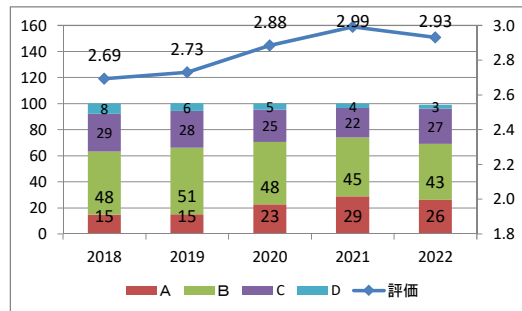
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校保護者対象)



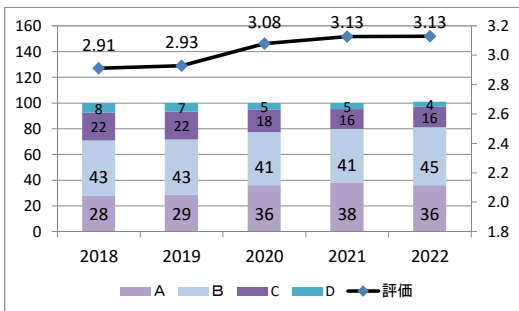
5 カウンシングを受けられることを知っていますか(中学校保護者対象)



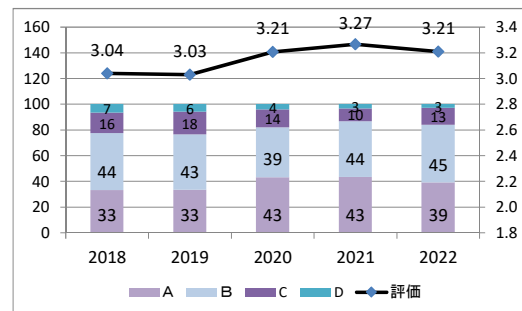
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学校保護者対象)



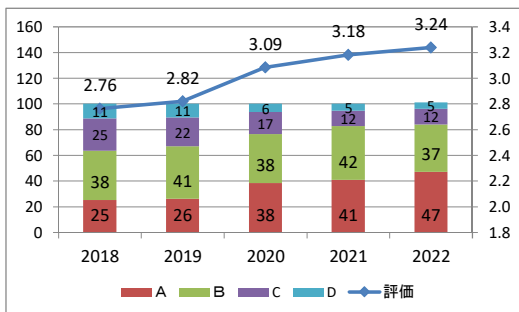
7 カウンシングを受けられることを知っていますか(高校生対象)



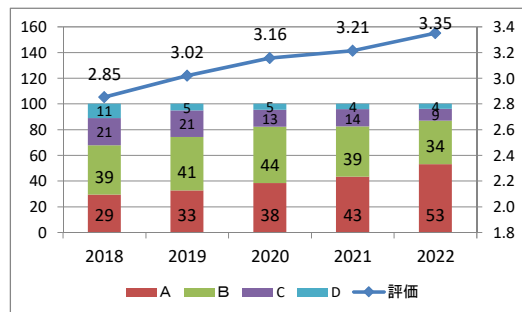
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校生対象)



9 カウンシングを受けられることを知っていますか(中学生対象)



10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学生対象)



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

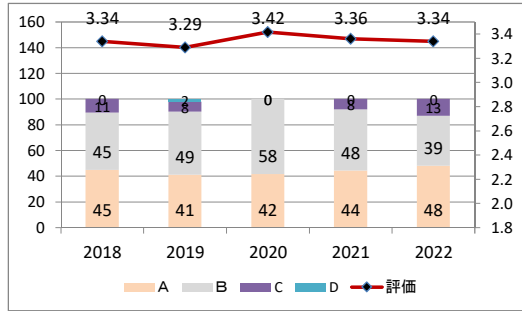
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

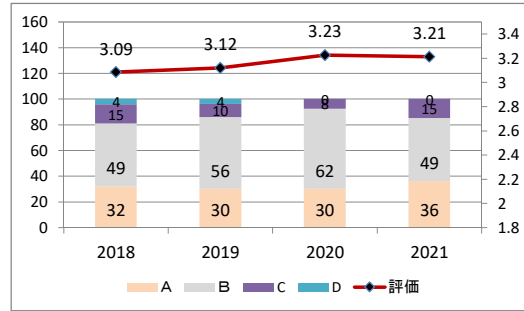
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2018年～2022年）

【グラフ ①】

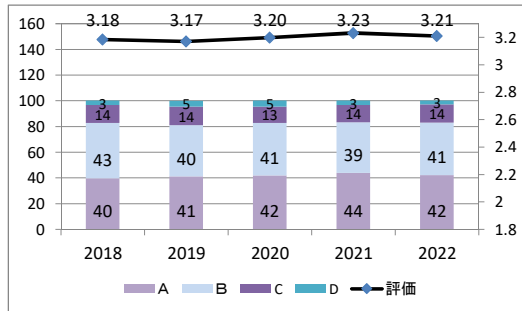
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



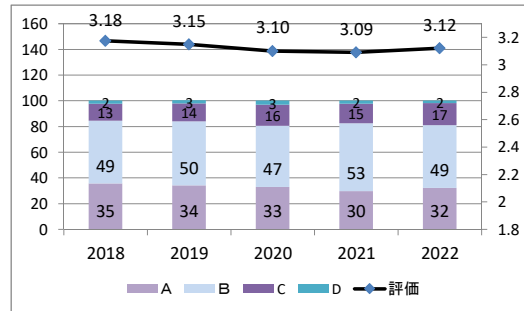
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



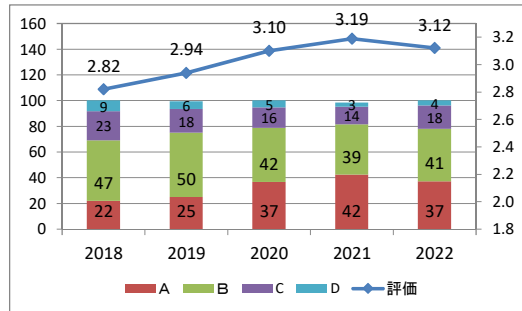
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



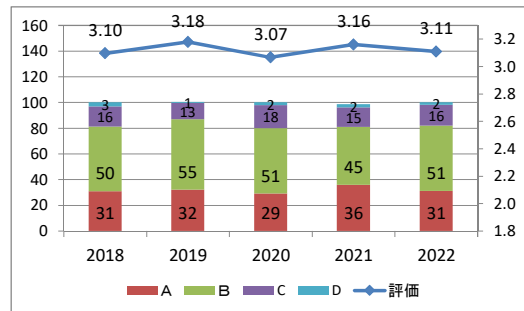
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



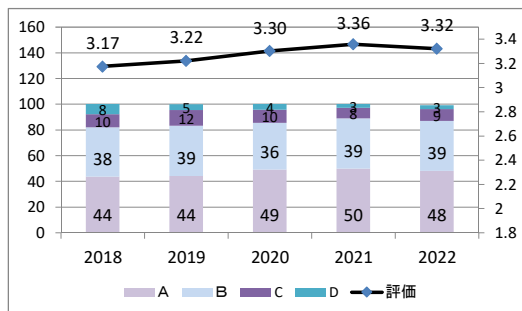
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



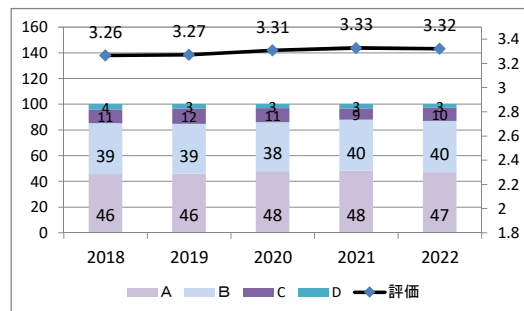
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



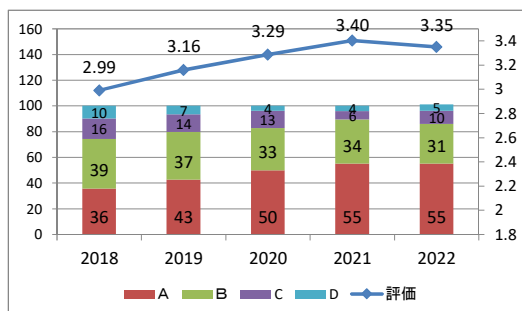
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



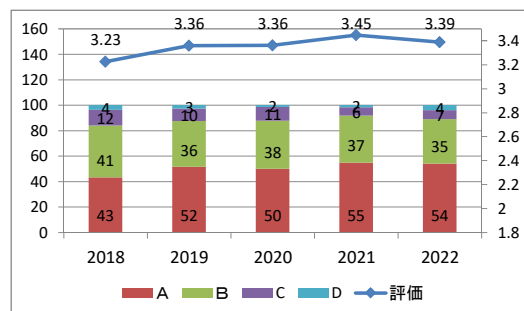
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

2022年度 学校評価 自己点検・評価項目 組織 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目	No.	小項目	設 問	30項目	評価	A	B	C	D	
学校全般		○ 1			本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.28	29.5	68.9	1.6	0.0	
		○ 2			本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.07	13.1	80.3	6.6	0.0	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標		建学の精神に基づき教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.79	8.2	65.6	23.0	3.3	
		○ 4	合併の精神・併設校としての使命		関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	2.95	21.3	55.7	19.7	3.3	
	教職員間連携	○ 5	管理職と教員、教職員同士の連携		管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.75	13.1	57.4	21.3	8.2	
		○ 6	ミドルマネジメントによる組織運営		主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.80	18.0	49.2	27.9	4.9	
		○ 7	会議の有効性		職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.84	14.8	55.7	27.9	1.6	
		○ 8	ハラスメントに関する研修		安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対しての注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.61	8.2	49.2	37.7	4.9	
	情報公開	○ 9	ホームページの活用		本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	3.02	19.7	63.9	14.8	1.6	
		○ 10	初動対応		事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	3.02	29.5	47.5	18.0	4.9	
		○ 11	避難訓練や安全対策		警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.34	44.3	45.9	9.8	0.0	
		○ 12	地域連携の推進		自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.72	14.8	45.9	36.1	3.3	
教育内容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組		学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.85	14.8	60.7	19.7	4.9	
		○ 14	スローラーナーへの対応		学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.67	13.1	41.0	45.9	0.0	
	徳 育	○ 15	保護者との連携		学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	3.08	21.3	67.2	9.8	1.6	
		○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成		生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	3.00	24.6	54.1	18.0	3.3	
	体 育	○ 17	いじめへの対応		いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.13	27.9	60.7	8.2	3.3	
		○ 18	ポラテティア活動の推進		生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.97	32.8	34.4	29.5	3.3	
		○ 19	健康な身体づくり		基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.36	41.0	54.1	4.9	0.0	
		○ 20	人権に対する指導体制		他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	3.10	21.7	66.7	11.7	0.0	
	生徒支援	学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践		高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.23	39.3	47.5	9.8	3.3
			○ 22	指導方針の一貫性		生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	2.98	25.0	55.0	13.3	6.7
生徒指導		○ 23	組織的な指導体制・家庭との連携		生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	
		○ 24	カウンセリング体制		生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.23	34.4	57.4	4.9	3.3	
		○ 25	進路指導体制		一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。	3.15	24.6	65.6	9.8	0.0	
		○ 26	部活動支援状況		部活動を通じて生徒が成長できるように学校全体で支援している。	3.34	47.5	39.3	13.1	0.0	
教員研修	教員相互の資質向上体制	○ 27	学校行事指導体制		学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるように、学校と保護者が協力して支援している。	3.18	33.3	51.7	15.0	0.0	
		○ 28	校内外における教員研修		本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.88	16.7	60.0	18.3	5.0	
	○ 29	国際理解		教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.57	10.0	45.0	36.7	8.3		
その他	国際化	○ 30	国際理解		ALTIによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	2.80	16.9	47.5	33.9	1.7	

注:○は併設校共通項目

A~Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかかといえそう思う C(2):どちらかかといえそう思わない D(1):そう思わない

2022年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一個人 — 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	3.16	21.7	63.3	15.0	0.0
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.31	39.3	55.7	1.6	3.3
	教職員間連携	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成したシラバスに沿って授業を行なっている。	3.46	50.8	44.3	4.9	0.0
		4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.16	29.5	60.7	6.6	3.3
教育内容	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.37	43.3	51.7	3.3	1.7
		7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.39	50.8	41.0	4.9	3.3
	分掌と学年	8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.28	37.7	52.5	9.8	0.0
		9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6
	知 育	10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0
		11	模試や入試問題の活用	模範試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	2.87	21.3	47.5	27.9	3.3
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.52	9.8	39.3	44.3	6.6
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.92	18.0	57.4	23.0	1.6
14		保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	
15		社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.25	34.4	55.7	9.8	0.0	
徳 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.28	44.3	39.3	16.4	0.0	
	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	
生徒指導と支援	学校教育	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対するの理解を深め、積極的に協力をしている。	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6
		19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6
	生徒指導	20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.13	34.4	47.5	14.8	3.3
		21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.18	27.9	62.3	9.8	0.0
		22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.26	41.0	45.9	11.5	1.6
	教員研修	23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.28	36.1	57.4	4.9	1.6
		24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.93	27.9	42.6	24.6	4.9
その他	ICT教育	25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.67	16.7	41.7	33.3	8.3
		26	ICT教育の推進	iPadやロイノートなどのICTツールを有効に活用している。	3.05	31.7	46.7	16.7	5.0

注:○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかかといえそう思う C(2):どちらかかといえそう思わない D(1):そう思わない

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4カ年)— 【資料1-3】

分類	大項目	小項目	教員 組織面の自己評価																							
			2019年度				2020年度				2021年度				2022年度											
			NO.	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D								
学校 全校		学 生 生 活	○ 1	3.25	34.0	56.6	9.4	0.0	3.29	34.5	60.0	5.5	0.0	3.33	36.1	60.7	3.3	0.0	3.28	29.5	68.9	1.6	0.0			
			○ 2	2.89	9.4	69.8	20.8	0.0	3.09	20.0	69.1	10.9	0.0	3.08	14.8	80.3	3.3	1.6	3.07	13.1	80.3	6.6	0.0			
			○ 3	2.75	9.4	60.4	26.4	3.8	2.74	16.7	48.1	27.8	7.4	2.79	14.8	52.5	29.5	3.3	2.79	8.2	65.6	23.0	3.3			
			○ 4	2.77	17.0	47.2	32.1	3.8	3.02	24.1	59.3	11.1	5.6	2.93	23.0	50.8	23.0	3.3	2.95	21.3	55.7	19.7	3.3			
学校 運 営	私 学 の 独 自 性 教 育 課 程	合 併 の 精 神 ・ 併 設 校 と し て の 使 命 学 習 指 導 要 領 と 年 間 指 導 計 画 管 理 職 と 教 員 、 教 職 員 同 士 の 間 の 連 携 ミ ド ル メ ナ シ ョ ン ト の 組 織 運 営 会 議 の 有 効 性 ハ ラ ス メ ン ト に 関 す る 研 修 ホ ー ム ペ ー ジ の 活 用 初 動 対 応 危 機 管 理 地 域 と の 連 携 分 享 と 学 年	5	2.77	18.9	45.3	30.2	5.7	2.76	14.8	50.0	31.5	3.7	2.64	11.5	50.8	27.9	9.8	2.75	13.1	57.4	21.3	8.2			
			6	2.83	18.9	52.8	20.8	7.5	2.81	22.2	48.1	18.5	11.1	2.74	16.4	50.8	23.0	9.8	2.80	18.0	49.2	27.9	4.9			
			○ 7	2.85	23.1	48.1	19.2	9.6	2.87	23.6	47.3	21.8	7.3	2.77	23.0	39.3	29.5	8.2	2.84	14.8	55.7	27.9	1.6			
			8	2.75	20.8	43.4	26.4	9.4	2.65	9.3	50.0	37.0	3.7	2.66	13.1	45.9	34.4	6.6	2.61	8.2	49.2	37.7	4.9			
			○ 9	2.75	15.1	49.1	32.1	3.8	2.81	14.8	55.6	25.9	3.7	2.85	18.0	54.1	23.0	4.9	3.02	19.7	63.9	14.8	1.6			
			10	2.62	15.1	41.5	34.0	9.4	2.78	22.2	44.4	22.2	11.1	2.95	18.0	62.3	16.4	3.3	3.02	29.5	47.5	18.0	4.9			
			○ 11	3.17	35.8	47.2	15.1	1.9	3.40	50.9	38.2	10.9	0.0	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6	3.34	44.3	45.9	9.8	0.0			
			12	2.58	9.4	47.2	35.8	7.5	2.68	13.2	49.1	30.2	7.5	2.62	16.4	36.1	41.0	6.6	2.72	14.8	45.9	36.1	3.3			
			教 育 内 容	知 育	基 礎 学 力 の 習 得 学 力 向 上 に お け る 組 織 的 な 取 組 模 試 や 入 試 問 題 の 活 用 ス ロ ー ナ ー ナ ー へ の 対 応 授 業 評 価 の 活 用 保 護 者 と の 連 携 社 会 規 範 の 理 解 と モ ラ ル の 醸 成 い じ め へ の 対 応 ポ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 推 進 健 康 な 身 体 つ く り 人 権 に 対 す る 指 導 体 制 学 校 間 連 携 指 導 方 針 の 一 貫 性 家 庭 と の 連 携 状 況 組 織 的 な 指 導 体 制 カ ウ ン セ リ ン グ 体 制 進 路 指 導 体 制 生 徒 会 活 動 教 員 の 研 修 活 動 教 員 相 互 の 資 質 向 上 体 制 国 際 理 解	○ 13	2.74	7.5	64.2	22.6	5.7	2.85	10.9	65.5	21.8	1.8	2.92	15.0	61.7	23.3	0.0	2.85	14.8	60.7	19.7	4.9
						○ 14	2.75	13.2	50.9	34.0	1.9	2.87	24.1	42.6	29.6	3.7	2.82	16.4	49.2	34.4	0.0	2.67	13.1	41.0	45.9	0.0
						○ 15	2.94	11.3	71.7	17.0	0.0	3.07	23.6	60.0	16.4	0.0	3.03	19.7	63.9	16.4	0.0	3.08	21.3	67.2	9.8	1.6
						○ 16	2.96	20.8	56.6	20.8	1.9	2.96	25.5	49.1	21.8	3.6	3.23	37.7	47.5	14.8	0.0	3.00	24.6	54.1	18.0	3.3
17	3.06	22.6				62.3	13.2	1.9	3.22	36.4	50.9	10.9	1.8	3.25	37.7	50.8	9.8	1.6	3.13	27.9	60.7	8.2	3.3			
18	2.89	30.2				34.0	30.2	5.7	2.91	27.8	42.6	22.2	7.4	3.02	26.2	50.8	21.3	1.6	2.97	32.8	34.4	29.5	3.3			
○ 19	3.30	39.6				50.9	9.4	0.0	3.35	38.2	58.2	3.6	0.0	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0	3.36	41.0	54.1	4.9	0.0			
○ 20	3.02	22.6				60.4	13.2	3.8	3.04	24.1	59.3	13.0	3.7	3.20	34.4	50.8	14.8	0.0	3.10	21.7	66.7	11.7	0.0			
○ 21	3.13	32.1				49.1	18.9	0.0	3.05	30.9	47.3	18.2	3.6	3.44	57.4	31.1	9.8	1.6	3.23	39.3	47.5	9.8	3.3			
22	2.91	18.9				56.6	20.8	3.8	3.13	33.3	48.1	16.7	1.9	3.18	34.4	52.5	9.8	3.3	2.98	25.0	55.0	13.3	6.7			
23	2.83	18.9				50.9	24.5	5.7	2.94	24.1	50.0	22.2	3.7	2.98	26.2	47.5	24.6	1.6	2.93	21.3	57.4	14.8	6.56			
○ 24	3.19	30.2				58.5	11.3	0.0	3.16	32.7	52.7	12.7	1.8	3.21	32.8	55.7	11.5	0.0	3.23	34.4	57.4	4.9	3.3			
25	2.89	17.0				58.5	20.8	3.8	3.09	27.8	55.6	14.8	1.9	3.18	32.8	52.5	14.8	0.0	3.15	24.6	65.6	9.8	0.0			
26	3.29	41.2				49.0	7.8	2.0	3.42	41.5	58.5	0.0	0.0	3.36	44.3	47.5	8.2	0.0	3.34	47.5	39.3	13.1	0.0			
27	3.12	30.0	56.0	10.0	4.0	3.23	30.2	62.3	7.5	0.0	3.21	36.1	49.2	14.8	0.0	3.18	33.3	51.7	15.0	0.0						
○ 28	2.67	13.7	43.1	39.2	3.9	2.57	9.3	46.3	37.0	7.4	2.97	21.3	54.1	24.6	0.0	2.88	16.7	60.0	18.3	5.0						
29	2.41	9.8	37.3	37.3	15.7	2.60	15.1	37.7	39.6	7.5	2.56	11.5	41.0	39.3	8.2	2.57	10.0	45.0	36.7	8.3						
30	2.20	8.2	24.5	51.0	16.3	2.57	15.4	40.4	34.6	9.6	2.70	21.3	32.8	41.0	4.9	2.80	16.9	47.5	33.9	1.7						

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4)

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2022年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート — 高中別 — 【資料2①】

	設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校					中学校				
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	3.41	53.2	36.5	8.1	2.3	3.35	49.0	39.5	8.6	2.9
2	保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	3.42	54.0	35.5	8.8	1.7	3.39	52.4	35.1	11.2	1.3
3	本校の教育方針・教育目標	3.13	29.2	55.7	13.6	1.5	3.21	34.0	54.8	9.0	2.2
4	HPの活用	3.16	35.1	48.2	14.9	1.8	3.23	38.5	47.1	12.7	1.6
5	初動対応	3.16	33.2	52.1	12.1	2.6	3.20	38.7	46.0	12.5	2.9
6	避難訓練や安全対策	3.12	29.0	55.6	13.9	1.5	3.23	35.1	53.4	10.9	0.6
7	学力向上における組織的な取組	3.08	32.0	47.7	16.9	3.3	3.15	39.2	40.4	16.6	3.8
8	スローラーナーへの対応	2.85	22.0	46.8	25.3	5.8	2.88	26.2	42.8	23.3	7.7
9	保護者との連携	3.18	37.4	46.3	12.9	3.4	3.25	41.4	44.9	11.1	2.5
10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.25	37.5	51.2	9.7	1.6	3.33	44.1	47.0	6.4	2.6
11	いじめへの対応	3.16	31.9	53.9	12.3	1.9	3.13	35.4	47.1	12.7	4.8
12	健康な身体づくり	3.30	41.9	47.5	9.6	1.0	3.35	45.0	46.3	7.7	1.0
13	中高連携事業の実践	3.29	43.4	44.6	10.1	2.0	3.19	38.7	43.1	16.6	1.6
14	指導方針の一貫性	3.15	35.8	46.8	15.1	2.4	3.18	36.3	47.5	13.7	2.5
15	家庭との連携状況	3.00	28.3	47.3	20.2	4.1	3.09	35.8	39.9	21.7	2.6
16	カウンセリング体制	3.06	28.3	52.9	16.2	2.6	3.12	32.9	47.9	17.6	1.6
17	進路指導体制	3.08	32.7	47.0	16.2	4.1	2.93	26.4	43.3	27.1	3.2
18	部活動支援状況	3.21	41.7	41.4	13.6	3.3	3.12	37.4	41.0	17.7	3.9
19	学校行事指導体制	3.12	32.2	49.3	16.5	2.1	3.11	31.3	50.5	16.3	1.9
20	教員研修体制	3.06	26.8	55.4	15.2	2.7	3.10	31.8	47.5	19.1	1.6
21	事務室の対応	3.38	46.9	46.4	5.2	1.5	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6
22	家庭への連絡体制	3.40	49.1	42.9	6.8	1.2	3.52	58.6	36.2	4.9	0.3

評価平均	2022年度	3.20
	2021年度	3.25
	2020年度	3.10
	2019年度	2.99
	2018年度	2.95

2022年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) 一過去4年比較— 【資料2-1】

分類	大項目	NO	小項目	高等学校																						
				2019年度					2020年度					2021年度					2022年度							
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D			
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.31	48.4	37.3	11.4	2.8	3.33	48.2	39.8	9.2	2.9	3.39	51.2	38.2	8.6	2.0	3.41	53.2	36.5	8.1	2.3			
		○ 2		3.23	42.9	40.3	13.5	3.3	3.30	46.3	40.2	10.4	3.1	3.37	51.8	36.3	9.4	2.5	3.42	54.0	35.5	8.8	1.7			
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.99	24.0	54.3	17.9	3.8	3.13	29.8	56.1	12.3	1.9	3.09	28.4	55.3	13.4	2.9	3.13	29.2	55.7	13.6	1.5			
		○ 4		2.88	24.2	46.5	22.0	7.3	3.04	28.7	50.9	16.7	3.7	3.04	30.1	47.9	18.5	3.6	3.16	35.1	48.2	14.9	1.8			
		5		危機管理	2.84	23.2	46.9	21.4	8.5	3.03	29.5	49.8	15.5	5.2	3.03	29.3	49.6	17.0	4.2	3.16	33.2	52.1	12.1	2.6		
		○ 6			2.90	20.9	53.2	21.4	4.5	3.08	27.4	55.3	14.6	2.7	3.08	27.3	55.5	15.0	2.2	3.12	29.0	55.6	13.9	1.5		
		教育内容		知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.81	21.7	44.5	27.2	6.6	2.95	25.4	49.6	20.1	4.8	2.98	27.6	48.2	19.5	4.7	3.08	32.0	47.7	16.9	3.3
					○ 8		2.63	16.1	41.4	32.9	9.6	2.78	20.2	45.8	25.9	8.1	2.86	22.1	48.8	22.5	6.6	2.85	22.0	46.8	25.3	5.8
○ 9	徳育		2.98		30.5		42.7	21.6	5.2	3.06	32.6	45.2	18.0	4.2	3.14	35.3	47.1	14.4	3.3	3.18	37.4	46.3	12.9	3.4		
○ 10			3.15		33.7		50.4	13.9	2.0	3.23	35.6	53.1	9.8	1.5	3.22	35.4	53.1	9.6	1.9	3.25	37.5	51.2	9.7	1.6		
生徒指導・生徒支援	生徒指導		○ 11		いじめへの対応		3.05	26.4	54.4	16.8	2.4	3.12	28.1	57.3	13.3	1.4	3.14	30.6	54.5	13.4	1.5	3.16	31.9	53.9	12.3	1.9
			○ 12				3.21	36.0	51.5	10.8	1.7	3.27	38.5	51.7	8.4	1.3	3.28	39.4	49.8	10.0	0.9	3.30	41.9	47.5	9.6	1.0
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.12	34.0	48.1	14.6	3.4	3.16	36.5	45.7	15.4	2.4	3.22	38.2	46.7	13.6	1.5	3.29	43.4	44.6	10.1	2.0			
		14		生徒指導	3.00	26.3	52.0	17.2	4.5	3.14	33.0	50.6	13.2	3.1	3.15	33.2	51.6	13.0	2.2	3.15	35.8	46.8	15.1	2.4		
		15			カウンセリング	2.88	24.7	43.9	25.9	5.4	2.93	27.1	43.9	23.7	5.3	2.99	28.2	47.8	20.0	4.1	3.00	28.3	47.3	20.2	4.1	
		○ 16		2.85		21.4	48.1	25.1	5.4	2.98	25.7	50.7	19.3	4.3	3.04	26.0	54.7	17.1	2.2	3.06	28.3	52.9	16.2	2.6		
		生徒支援		進路指導	17	進路指導体制	2.88	24.8	45.8	23.0	6.4	2.96	28.0	45.3	21.2	5.5	3.07	31.3	47.6	18.2	2.9	3.08	32.7	47.0	16.2	4.1
					18		生徒会活動	3.17	41.0	40.2	14.3	4.6	3.20	41.7	41.0	12.8	4.5	3.23	43.7	39.3	13.6	3.3	3.21	41.7	41.4	13.6
19	3.15		33.7		50.0			13.8	2.5	3.10	32.9	47.5	16.4	3.2	3.09	29.5	52.8	15.3	2.4	3.12	32.2	49.3	16.5	2.1		
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.93	24.1	50.0	21.1	4.8	2.99	26.7	49.5	19.7	4.0	3.03	26.0	53.3	18.1	2.6	3.06	26.8	55.4	15.2	2.7			
		21		その他	3.37	48.7	41.4	8.0	1.9	3.45	52.8	41.2	4.7	1.3	3.43	51.4	41.6	6.0	1.0	3.38	46.9	46.4	5.2	1.5		
		22	家庭への連絡体制																							

注：○は併設校共通項目 3.02 3.11 3.15 3.18

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2022年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(中学校) 一過去4力年比較— 【資料2-2】

		中学校																					
分類	大項目	NO	小項目	2019年度				2020年度				2021年度				2022年度							
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.26	41.7	45.5	10.3	2.6	3.31	49.1	36.2	11.9	2.8	3.39	51.6	37.9	8.4	2.1	3.35	49.0	39.5	8.6	2.9
		○ 2		3.08	32.7	46.2	17.6	3.5	3.29	42.8	45.3	9.7	2.2	3.37	50.7	37.3	10.1	1.8	3.39	52.4	35.1	11.2	1.3
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.03	25.0	55.4	17.0	2.6	3.16	32.1	53.5	12.6	1.9	3.27	37.6	51.6	10.4	0.3	3.21	34.0	54.8	9.0	2.2
		○ 4		3.04	29.9	49.2	17.0	3.9	3.04	32.3	45.5	17.2	5.0	3.17	39.1	41.8	16.1	3.0	3.23	38.5	47.1	12.7	1.6
学校運営	情報公開	5	HPの活用	2.93	24.4	49.7	20.5	5.4	3.12	32.5	50.0	14.4	3.1	3.32	44.3	45.5	8.1	2.1	3.20	38.7	46.0	12.5	2.9
		○ 6		3.05	26.7	56.3	13.8	3.2	3.20	36.4	49.2	12.2	2.2	3.25	38.5	49.6	10.1	1.8	3.23	35.1	53.4	10.9	0.6
教育内容	避難訓練や安全対策	○ 7	学方向上における組織的な取組	2.78	16.1	54.0	22.2	7.7	3.03	29.5	48.9	17.2	4.4	3.28	44.5	41.5	11.6	2.4	3.15	39.2	40.4	16.6	3.8
		○ 8		2.64	15.8	42.8	32.2	9.3	2.89	24.4	48.8	18.8	8.1	3.11	35.2	44.5	16.4	3.9	2.88	26.2	42.8	23.3	7.7
教育内容	スローラーナーへの対応	○ 9	保護者との連携	3.06	29.2	51.3	16.3	3.2	3.18	39.2	44.2	13.5	3.1	3.30	45.7	40.6	12.2	1.5	3.25	41.4	44.9	11.1	2.5
		○ 10		3.05	26.0	55.4	16.3	2.2	3.12	32.0	51.1	14.1	2.8	3.37	45.7	47.5	5.1	1.8	3.33	44.1	47.0	6.4	2.6
教育内容	社会規範の理解とモラルの醸成	○ 11	いじめへの対応	2.91	19.6	54.5	23.7	2.2	3.03	26.3	53.1	17.8	2.8	3.22	36.4	50.7	11.3	1.5	3.13	35.4	47.1	12.7	4.8
		○ 12		3.13	28.9	57.9	10.9	2.3	3.18	32.5	53.8	12.5	1.3	3.35	44.2	47.5	7.5	0.9	3.35	45.0	46.3	7.7	1.0
教育内容	健康な身体づくり	○ 13	中高大連携事業の実践	3.02	25.4	54.7	17.7	2.3	3.03	27.5	50.9	18.1	3.4	3.16	34.8	47.6	16.1	1.5	3.19	38.7	43.1	16.6	1.6
		14		2.88	19.9	53.5	21.8	4.8	3.06	29.8	49.8	17.2	3.1	3.28	38.8	51.3	9.0	0.9	3.18	36.3	47.5	13.7	2.5
生徒指導・生徒支援	生徒指導	15	指導方針の一貫性	2.90	21.5	51.3	23.4	3.8	3.01	30.3	43.4	22.8	3.4	3.18	37.9	44.2	16.1	1.8	3.09	35.8	39.9	21.7	2.6
		○ 16		2.85	19.3	50.8	26.7	3.2	3.02	29.8	44.8	22.9	2.5	3.11	31.0	51.3	15.5	2.1	3.12	32.9	47.9	17.6	1.6
生徒支援	カウンセリング	17	家庭との連携状況	2.73	15.2	50.6	28.4	5.8	2.88	22.6	48.0	24.8	4.7	2.99	28.7	45.4	22.4	3.6	2.93	26.4	43.3	27.1	3.2
		18		2.94	25.4	50.2	18.3	6.1	3.10	36.7	42.0	16.0	5.3	3.19	42.2	39.2	14.7	3.9	3.12	37.4	41.0	17.7	3.9
生徒支援	進路指導	19	部活動支援状況	3.18	32.1	54.5	12.5	1.0	3.07	29.0	50.8	18.0	2.2	3.16	35.8	45.1	18.5	0.6	3.11	31.3	50.5	16.3	1.9
		○ 20		2.88	19.9	54.3	19.9	5.8	3.03	28.4	50.8	18.0	2.8	3.20	34.6	51.0	13.7	0.6	3.10	31.8	47.5	19.1	1.6
教員研修	教員の研修活動	21	学校行事指導体制	3.35	44.9	46.2	7.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6
		22		2.99	29.9	46.2	7.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6
その他	窓口対応	22	家庭への連絡体制	2.99	29.9	46.2	7.7	1.3	3.38	47.6	45.0	6.4	1.0	3.42	51.3	40.3	7.2	1.2	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6
		22		3.20	58.3	35.4	5.7	0.6	3.51	58.3	36.2	4.9	0.3	3.20	58.3	35.4	5.7	0.6	3.52	58.6	36.2	4.9	0.3

注：○は併設校共通項目 2.99 3.10 3.25 3.20

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2022年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ー 高中別ー 【資料2②】

小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体					中学校全体				
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活は楽しいと感じていますか。	3.42	53.7	36.3	8.3	1.6	3.42	57.7	29.9	9.4	3.0
2	この学校に入学して良かったと思いますか。	3.13	36.5	44.6	14.1	4.7	3.39	53.8	35.4	7.2	3.6
3	教育方針・教育目標	2.84	23.1	45.7	23.6	7.7	3.01	33.0	40.8	19.8	6.3
4	HPの活用	3.07	33.0	46.0	15.7	5.2	3.34	50.3	37.3	8.7	3.6
5	初動対応	3.13	35.1	47.1	14.0	3.8	3.41	56.9	31.6	6.6	4.8
6	避難訓練や安全対策	3.32	44.4	44.6	9.5	1.5	3.50	61.6	29.4	6.9	2.1
7	学力向上における組織的な取組	2.99	27.8	48.2	19.5	4.5	3.34	49.8	37.5	9.6	3.0
8	スローラーナーへの対応	2.94	27.9	42.9	24.0	5.1	3.34	52.3	32.6	12.7	2.4
9	保護者との連携	3.13	37.9	40.7	17.4	4.0	3.39	54.7	33.6	8.1	3.6
10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.16	38.5	42.9	14.6	4.0	3.32	49.7	36.1	11.7	2.4
11	いじめへの対応	3.11	35.6	44.0	15.6	4.8	3.33	53.8	30.6	10.5	5.1
12	健康な身体づくり	3.30	44.6	42.6	10.3	2.5	3.48	56.2	37.2	4.8	1.8
13	中高連携事業の実践	3.31	49.2	36.1	10.9	3.8	3.49	63.4	25.8	7.5	3.3
14	指導方針の一貫性	3.23	43.1	40.6	12.2	4.1	3.47	60.1	30.6	5.4	3.9
15	家庭との連携状況	3.07	33.1	44.3	18.7	3.9	3.38	52.9	36.0	7.5	3.6
16	カウンセリング体制	3.13	35.7	45.2	15.5	3.7	3.24	46.5	36.9	11.5	5.1
17	進路指導体制	3.21	39.4	44.6	13.3	2.7	3.35	52.9	34.1	9.4	3.6
18	部活動支援状況	3.32	47.9	39.3	9.3	3.4	3.35	55.1	30.7	9.6	4.5
19	学校行事指導体制	3.32	47.3	40.1	9.8	2.8	3.39	53.8	35.1	7.2	3.9
20	校内外における教員研修	2.96	29.8	43.3	19.0	7.8	3.31	51.4	33.0	10.8	4.8
21	学習環境	3.45	55.9	34.7	7.7	1.8	3.50	64.9	25.2	5.2	4.6

評価平均 2022年度	3.17
2021年度	3.35
2020年度	3.25
2019年度	3.13
2018年度	3.02

2022年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3か年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2020年度				2021年度				2022年度				学年別評価											
				評価		評価		評価		評価		評価		評価		1年	2年	3年									
				A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	1年	2年	3年									
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.36	34.6	9.6	3.3	3.26	3.33	3.49	3.44	56.2	33.7	7.7	2.5	3.46	3.40	3.44	3.42	53.7	36.3	8.3	1.6	3.39	3.47	3.41	
		○ 2		3.13	39.5	15.9	5.1	3.02	3.05	3.31	3.20	41.5	41.3	13.1	4.2	3.23	3.10	3.27	3.13	36.5	44.6	14.1	4.7	3.08	3.14	3.18	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.84	42.5	23.5	9.0	2.67	2.75	3.06	2.94	29.5	43.1	19.5	7.9	3.00	2.92	2.90	2.84	23.1	45.7	23.6	7.7	2.77	2.87	2.88	
		○ 4	HPの活用	2.87	28.9	40.0	20.8	2.92	2.78	2.92	2.99	33.1	40.2	19.4	7.2	3.13	2.98	2.86	3.07	33.0	46.0	15.7	5.2	3.05	3.08	3.07	
		5	初動対応	2.86	29.2	38.8	20.6	2.96	2.72	2.89	3.05	35.5	41.4	16.1	7.0	3.15	3.07	2.93	3.13	35.1	47.1	14.0	3.8	3.15	3.10	3.14	
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.21	42.0	40.6	13.7	3.17	3.16	3.28	3.30	46.0	40.6	10.8	2.6	3.29	3.33	3.29	3.32	44.4	44.6	9.5	1.5	3.29	3.28	3.40	
		○ 7	学力向上における組織的な取組	3.06	32.7	45.1	17.5	2.86	3.01	3.28	3.16	36.5	46.5	13.2	3.7	3.22	3.09	3.17	2.99	27.8	48.2	19.5	4.5	2.89	3.03	3.08	
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.02	32.4	42.9	19.0	2.84	2.89	3.30	3.06	34.9	42.0	17.2	5.8	3.11	3.05	3.01	2.94	27.9	42.9	24.0	5.1	2.79	3.07	2.97	
教育内容	知育	○ 9	保護者との連携	3.19	41.7	39.7	14.1	3.08	3.24	3.24	3.22	42.6	40.4	13.0	4.0	3.19	3.24	3.22	3.13	37.9	40.7	17.4	4.0	3.14	3.17	3.07	
		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.14	36.3	45.7	14.2	3.04	3.07	3.30	3.25	43.2	41.9	11.3	3.6	3.33	3.23	3.18	3.16	38.5	42.9	14.6	4.0	3.15	3.18	3.15	
		○ 11	いじめへの対応	3.05	35.2	41.2	17.7	2.92	2.95	3.27	3.20	42.4	39.7	13.1	4.7	3.24	3.22	3.14	3.11	35.6	44.0	15.6	4.8	3.04	3.15	3.13	
		○ 12	健康な身体づくり	3.34	48.4	39.8	9.5	2.2	3.32	3.26	3.44	3.34	48.0	40.6	8.5	2.9	3.36	3.31	3.33	3.30	44.6	42.6	10.3	2.5	3.37	3.27	3.24
		○ 13	中高大連携事業の実践	3.25	46.0	37.1	12.7	3.12	3.21	3.40	3.30	48.3	37.5	10.4	3.7	3.36	3.30	3.25	3.31	49.2	36.1	10.9	3.8	3.39	3.20	3.32	
生徒指導・生徒支援	生徒指導	14	指導方針の一貫性	3.18	41.1	40.8	12.9	3.10	3.06	3.35	3.29	47.5	37.9	10.3	4.2	3.32	3.29	3.26	3.23	43.1	40.6	12.2	4.1	3.23	3.22	3.24	
		15	家庭との連携状況	3.09	37.0	40.5	17.3	2.94	3.05	3.27	3.19	40.0	42.6	13.8	3.7	3.25	3.13	3.18	3.07	33.1	44.3	18.7	3.9	3.00	3.13	3.08	
		○ 16	カウンセリング体制	3.08	36.0	41.3	17.6	2.86	3.05	3.31	3.13	38.2	41.5	15.5	4.8	3.08	3.11	3.19	3.13	35.7	45.2	15.5	3.7	3.18	3.07	3.14	
		17	進路指導体制	3.21	43.0	38.9	13.9	3.06	3.14	3.40	3.27	43.2	43.5	10.0	3.3	3.29	3.26	3.25	3.21	39.4	44.6	13.3	2.7	3.18	3.21	3.23	
		18	部活動支援状況	3.30	49.1	36.4	10.1	3.21	3.21	3.48	3.36	49.8	39.1	8.1	3.0	3.36	3.31	3.40	3.32	47.9	39.3	9.3	3.4	3.27	3.34	3.35	
教員研修	教員の研修活動	19	学校行事指導体制	3.31	47.9	38.2	10.9	3.21	3.22	3.48	3.33	48.3	39.6	8.8	3.4	3.31	3.39	3.28	3.32	47.3	40.1	9.8	2.8	3.29	3.35	3.32	
		○ 20	教員研修体制	2.96	32.2	39.6	20.2	2.71	2.88	3.26	3.07	35.2	42.3	17.7	4.8	3.06	3.11	3.06	2.96	29.8	43.3	19.0	7.8	2.75	3.09	3.05	
その他	校内環境	21	学習環境	3.44	56.9	32.9	7.1	3.0	3.33	3.37	3.48	32.8	6.4	2.0	3.46	3.48	3.52	3.45	55.9	34.7	7.7	1.8	3.43	3.44	3.48		

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2022年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2020年度(全学年)			2021年度(全学年)			2022年度(全学年)			学年別評価			学年別評価											
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	1年	2年	3年								
				評値	A	B	C	D	評値	A	B	C	D	評値	A	B	C	D	評値	A	B	C	D				
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.42	56.3	33.5	6.5	3.7	3.64	3.34	3.30	3.45	54.7	37.4	6.5	1.5	3.42	3.44	3.50	3.42	57.7	29.9	9.4	3.0	3.55	3.30	3.43
		○ 2		3.27	43.6	43.3	9.5	3.7	3.61	3.11	3.08	3.37	49.7	39.4	9.1	1.8	3.42	3.33	3.35	3.39	53.8	35.4	7.2	3.6	3.54	3.34	3.30
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.98	26.4	50.9	16.6	6.1	3.08	2.99	2.85	3.02	31.5	45.3	16.8	6.5	3.00	2.95	3.10	3.01	33.0	40.8	19.8	6.3	3.26	2.83	2.93
		○ 4		3.11	38.8	39.1	16.5	5.5	3.33	3.15	2.86	3.22	41.2	44.1	10.3	4.4	3.24	3.15	3.28	3.34	50.3	37.3	8.7	3.6	3.50	3.27	3.26
		○ 5		3.15	41.6	37.0	16.5	4.9	3.49	3.15	2.83	3.28	43.8	43.8	8.8	3.5	3.38	3.24	3.21	3.41	56.9	31.6	6.6	4.8	3.58	3.30	3.34
		○ 6		3.39	50.3	40.2	7.6	1.8	3.66	3.33	3.18	3.51	58.7	34.8	5.3	1.2	3.48	3.53	3.52	3.50	61.6	29.4	6.9	2.1	3.53	3.43	3.56
		○ 7		3.22	41.0	43.8	11.6	3.6	3.30	3.25	3.11	3.31	44.7	44.4	7.9	2.9	3.35	3.30	3.27	3.34	49.8	37.5	9.6	3.0	3.52	3.26	3.25
		○ 8		3.33	49.7	36.0	11.9	2.4	3.55	3.39	3.05	3.39	52.9	35.9	8.2	2.9	3.26	3.43	3.49	3.34	52.3	32.6	12.7	2.4	3.47	3.23	3.32
教育内容	知育	○ 9	保護者との連携	3.31	47.0	39.3	11.3	2.4	3.51	3.32	3.09	3.42	53.4	36.3	8.8	1.5	3.35	3.41	3.50	3.39	54.7	33.6	8.1	3.6	3.51	3.32	3.35
		○ 10		3.23	44.0	38.8	13.5	3.7	3.50	3.24	2.95	3.33	46.2	43.2	7.9	2.6	3.39	3.28	3.31	3.32	49.7	36.1	11.7	2.4	3.42	3.21	3.33
教育内容	徳育	○ 11	社会規範の理解とモラルの醸成	3.03	37.8	35.1	19.5	7.6	3.34	2.98	2.77	3.30	47.1	38.8	10.9	3.2	3.47	3.17	3.23	3.33	53.8	30.6	10.5	5.1	3.52	3.21	3.26
		○ 12		3.39	50.5	39.4	8.3	1.8	3.59	3.40	3.17	3.46	55.6	35.9	7.4	1.2	3.45	3.49	3.45	3.48	56.2	37.2	4.8	1.8	3.61	3.41	3.41
教育内容	体育	○ 13	健康な身体づくり	3.30	49.2	35.9	10.6	4.3	3.37	3.50	3.04	3.39	53.2	34.1	11.2	1.5	3.33	3.45	3.43	3.49	63.4	25.8	7.5	3.3	3.58	3.45	3.45
		○ 14		3.28	48.9	35.5	10.7	4.9	3.64	3.21	3.01	3.38	51.5	37.9	7.6	2.9	3.50	3.31	3.31	3.47	60.1	30.6	5.4	3.9	3.63	3.46	3.30
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 15	中高大連携事業の実践	3.20	39.0	45.1	12.8	3.0	3.41	3.17	3.02	3.33	46.8	42.1	8.2	2.9	3.31	3.33	3.34	3.38	52.9	36.0	7.5	3.6	3.51	3.36	3.27
		○ 16		3.09	38.4	38.1	17.1	6.4	3.38	3.05	2.83	3.18	40.9	41.8	12.1	5.3	3.13	3.29	3.15	3.24	46.5	36.9	11.5	5.1	3.43	3.11	3.17
生徒支援	進路指導	○ 17	カウンセリング体制	3.16	38.3	43.8	13.4	4.6	3.39	3.15	2.94	3.21	43.2	39.1	13.5	4.1	3.20	3.25	3.19	3.35	52.9	34.1	9.4	3.6	3.54	3.23	3.29
		○ 18		3.29	49.8	32.8	13.4	4.0	3.47	3.32	3.06	3.40	55.0	34.4	6.5	4.1	3.50	3.32	3.36	3.35	55.1	30.7	9.6	4.5	3.41	3.35	3.30
教員研修	生徒会活動	○ 19	部活動支援状況	3.36	50.0	37.8	10.7	1.5	3.66	3.29	3.14	3.45	54.9	36.9	6.5	1.8	3.44	3.39	3.51	3.39	53.8	35.1	7.2	3.9	3.55	3.35	3.26
		○ 20		3.25	48.0	33.6	13.8	4.6	3.58	3.23	2.94	3.37	51.2	37.1	9.1	2.6	3.42	3.39	3.31	3.31	51.4	33.0	10.8	4.8	3.56	3.25	3.11
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.45	58.0	31.0	8.8	2.2	3.71	3.34	3.30	3.56	67.1	24.7	5.0	3.2	3.62	3.49	3.54	3.50	64.9	25.2	5.2	4.6	3.58	3.46	3.48

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4:そう思う 3:どちらかといえばそう思う 2:どちらかといえばそう思わない 1:そう思わない

2022年度 授業評価分析資料(教科別)

2022年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語				社会				数学				理科				英語								
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D					
自己評価	3.34	3.50	3.47	3.52	3.53	3.45	3.51	3.64	3.56	3.52	3.39	3.46	3.48	3.51	3.53	3.57	3.44	3.57	3.58	3.50	3.36	3.45	3.53	3.49	3.41
1	3.72	74.2%	23.6%	1.6%	0.5%	3.67	70.4%	26.9%	2.4%	0.3%	3.66	70.2%	25.8%	3.4%	0.6%	3.63	67.9%	28.3%	2.7%	1.1%	3.62	65.1%	31.7%	2.8%	0.4%
2	3.61	67.7%	27.1%	3.5%	1.6%	3.73	77.2%	19.4%	2.9%	0.5%	3.59	67.8%	25.3%	5.3%	1.5%	3.60	66.4%	28.3%	4.3%	1.1%	3.51	59.5%	33.2%	6.3%	1.0%
3	3.28	48.2%	34.7%	13.7%	3.4%	3.15	43.8%	33.7%	16.2%	6.3%	3.33	51.8%	32.6%	12.1%	3.5%	3.27	49.3%	32.5%	13.9%	4.3%	3.10	38.2%	37.9%	19.7%	4.3%
授業評価	3.45	3.61	3.57	3.69	3.63	3.59	3.65	3.75	3.71	3.57	3.46	3.62	3.64	3.66	3.64	3.74	3.62	3.61	3.71	3.61	3.49	3.63	3.67	3.69	3.62
4	3.62	72.3%	20.4%	4.3%	3.0%	3.66	73.4%	20.9%	4.0%	1.8%	3.69	76.6%	18.0%	3.2%	2.1%	3.60	72.2%	18.5%	6.8%	2.5%	3.78	80.5%	16.9%	2.3%	0.3%
5	3.66	72.6%	22.0%	4.5%	0.9%	3.68	73.9%	21.3%	3.5%	1.3%	3.73	77.6%	18.8%	2.9%	0.8%	3.69	74.4%	20.6%	4.0%	0.9%	3.68	72.6%	23.8%	2.6%	1.0%
6	3.60	70.1%	21.5%	6.7%	1.8%	3.52	63.9%	25.8%	8.3%	1.9%	3.61	70.2%	22.6%	5.5%	1.7%	3.55	67.0%	23.5%	7.2%	2.2%	3.56	64.9%	27.5%	5.8%	1.8%
7	3.56	68.2%	22.4%	6.8%	2.6%	3.55	66.8%	24.0%	6.1%	3.0%	3.63	74.3%	17.0%	6.3%	2.5%	3.60	70.6%	20.9%	6.3%	2.2%	3.61	71.5%	20.7%	5.5%	2.3%
8	3.65	73.0%	20.8%	4.7%	1.6%	3.64	70.8%	23.9%	4.0%	1.3%	3.73	77.1%	19.2%	3.2%	0.5%	3.67	71.9%	24.3%	2.9%	0.9%	3.70	73.3%	23.8%	2.6%	0.7%
9	3.64	73.2%	19.3%	5.7%	1.8%	3.55	67.1%	22.9%	8.2%	1.8%	3.66	72.7%	22.0%	4.3%	1.1%	3.58	68.6%	23.5%	5.2%	2.7%	3.53	61.5%	30.6%	7.2%	0.7%
10	3.68	73.2%	22.1%	3.6%	1.0%	3.61	69.6%	23.2%	5.4%	1.8%	3.76	79.8%	16.6%	2.7%	0.8%	3.74	77.8%	19.3%	1.8%	1.1%	3.68	72.3%	24.5%	2.5%	0.7%
11	3.66	71.4%	23.9%	3.7%	1.0%	3.55	64.7%	28.3%	4.8%	2.2%	3.74	78.6%	17.9%	2.1%	1.4%	3.64	71.1%	23.8%	3.6%	1.6%	3.64	68.4%	28.1%	2.6%	0.8%
12	3.68	73.4%	22.2%	3.4%	1.0%	3.66	72.9%	21.6%	4.0%	1.4%	3.57	67.6%	24.8%	5.2%	2.4%	3.65	73.3%	20.4%	4.3%	2.0%	3.68	73.1%	21.9%	4.5%	0.4%
13	3.71	76.2%	19.4%	3.7%	0.8%	3.54	66.9%	23.4%	6.3%	3.4%	3.59	69.3%	22.4%	6.0%	2.3%	3.69	73.3%	23.1%	2.7%	0.9%	3.65	70.0%	25.9%	2.9%	1.2%
14	3.55	66.3%	25.4%	5.5%	2.8%	3.45	60.3%	27.2%	9.9%	2.6%	3.45	59.1%	30.1%	7.8%	3.1%	3.51	62.1%	28.9%	6.7%	2.2%	3.42	55.8%	32.6%	9.1%	2.5%
15	3.58	67.2%	25.3%	5.5%	1.9%	3.52	62.9%	28.3%	6.8%	2.1%	3.61	69.8%	23.4%	5.1%	1.7%	3.53	64.1%	26.7%	7.0%	2.2%	3.54	62.2%	30.5%	5.9%	1.4%
16	3.55	66.2%	25.7%	5.3%	2.8%	3.48	60.0%	29.4%	8.8%	1.8%	3.60	68.0%	25.3%	5.2%	1.5%	3.53	62.2%	30.6%	5.4%	1.8%	3.56	63.4%	29.9%	5.5%	1.1%

設問\評価	保健体育				芸術				情報				技術・家庭							
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.64	3.71	3.74	3.74	3.74	3.55	3.37	3.75	3.75	3.75	3.80	3.84	3.92	3.72	3.90	3.68	3.74	3.66	3.58	3.69
1	3.83	85.0%	13.6%	1.0%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.8%	5.2%	0.0%	0.0%	3.78	78.2%	21.8%	0.0%	0.0%
2	3.78	79.8%	18.3%	1.6%	0.3%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%	3.85	87.3%	10.9%	1.8%	0.0%
3	3.62	68.3%	26.6%	3.8%	1.3%	#####	#####	#####	#####	#####	3.83	84.4%	14.3%	1.3%	0.0%	3.44	50.9%	43.6%	3.6%	1.8%
授業評価	3.72	3.75	3.80	3.80	3.75	3.66	3.44	3.80	3.80	3.80	3.80	3.89	3.94	3.77	3.86	3.72	3.73	3.62	3.61	3.83
4	3.80	84.2%	13.2%	1.3%	1.3%	#####	#####	#####	#####	#####	3.94	93.5%	6.5%	0.0%	0.0%	3.95	94.5%	5.5%	0.0%	0.0%
5	3.79	82.8%	14.8%	1.4%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.90	89.6%	10.4%	0.0%	0.0%	3.87	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%
6	3.71	75.4%	21.2%	2.4%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.83	85.7%	13.0%	0.0%	1.3%	3.85	87.3%	10.9%	1.8%	0.0%
7	3.68	74.4%	20.1%	4.3%	1.3%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	90.9%	7.8%	0.0%	1.3%	3.87	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%
8	3.79	81.4%	16.9%	0.8%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.90	89.6%	10.4%	0.0%	0.0%	3.80	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
9	3.78	80.9%	17.2%	1.0%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.83	84.4%	14.3%	1.3%	0.0%	3.93	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%
10	3.75	79.0%	18.2%	2.1%	0.8%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	90.9%	7.8%	0.0%	1.3%	3.89	89.1%	10.9%	0.0%	0.0%
11	3.76	79.4%	18.0%	1.4%	1.1%	#####	#####	#####	#####	#####	3.74	77.9%	18.2%	3.9%	0.0%	3.84	83.6%	16.4%	0.0%	0.0%
12	3.80	82.0%	16.4%	1.0%	0.6%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	89.6%	9.1%	1.3%	0.0%	3.75	74.5%	25.5%	0.0%	0.0%
13	3.71	75.5%	21.0%	2.4%	1.1%	#####	#####	#####	#####	#####	3.83	87.0%	10.4%	1.3%	1.3%	3.65	69.1%	27.3%	3.6%	0.0%
14	3.72	76.3%	20.1%	2.9%	0.8%	#####	#####	#####	#####	#####	3.81	81.8%	16.9%	1.3%	0.0%	3.71	72.7%	25.5%	1.8%	0.0%
15	3.74	77.7%	19.3%	2.2%	0.8%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	89.6%	9.1%	1.3%	0.0%	3.85	85.5%	14.5%	0.0%	0.0%
16	3.71	75.0%	22.3%	1.6%	1.1%	#####	#####	#####	#####	#####	3.83	83.1%	16.9%	0.0%	0.0%	3.87	87.3%	12.7%	0.0%	0.0%

※自己評価と授業評価

黄色の帯のところは、過去5年間の推移
2018年→2019年→2020年→2021年→2022年

※A～Dの数値は構成比
単位は%

※芸術科の音楽担当教諭が育休のため
####となっています。

No.	設 問	高等学校				中学校					
		A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	
	生徒自身の自己評価	自己評価平均値:3.56 (昨年 3.60)				自己評価平均値: 3.51(昨年 3.48)					
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.71	73.6%	24.0%	2.0%	0.5%	3.66	70.5%	26.0%	2.8%	0.6%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.64	70.4%	24.6%	3.8%	1.1%	3.64	69.7%	25.6%	4.1%	0.6%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.33	51.7%	32.4%	13.0%	3.0%	3.22	46.6%	34.7%	13.1%	5.6%
	教員に対する授業評価	授業評価平均値:3.64 (昨年 3.72)				授業評価平均値:3.66 (昨年 3.68)					
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.72	78.6%	17.1%	2.7%	1.7%	3.65	73.7%	19.2%	5.2%	1.9%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.69	74.4%	21.4%	3.2%	0.9%	3.76	80.1%	16.4%	2.7%	0.9%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.58	68.0%	24.3%	6.0%	1.8%	3.65	72.6%	20.8%	5.1%	1.5%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.62	71.4%	21.0%	5.5%	2.2%	3.60	71.9%	19.2%	6.3%	2.6%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.69	73.7%	22.3%	3.1%	0.9%	3.74	78.4%	17.9%	2.8%	0.8%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.58	67.3%	24.6%	6.6%	1.5%	3.64	72.2%	21.4%	4.9%	1.5%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.79	81.8%	16.5%	0.8%	0.8%	3.81	83.2%	14.8%	1.3%	0.7%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えましたか。	3.70	74.4%	21.7%	3.1%	0.8%	3.73	78.6%	17.1%	2.8%	1.5%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.63	69.1%	26.3%	3.4%	1.3%	3.69	75.2%	20.0%	3.2%	1.6%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.76	79.7%	17.7%	1.8%	0.8%	3.76	79.1%	18.9%	0.7%	1.4%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.63	70.6%	23.4%	4.5%	1.3%	3.70	75.8%	19.7%	3.6%	1.0%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.79	81.0%	17.7%	0.8%	1.0%	3.85	87.2%	10.7%	1.3%	0.7%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.64	70.7%	23.4%	4.4%	1.4%	3.64	72.5%	21.0%	4.0%	2.4%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.72	76.6%	20.0%	2.5%	1.0%	3.70	74.5%	22.1%	2.0%	1.3%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.47	59.6%	30.0%	7.8%	2.6%	3.50	63.6%	25.9%	7.7%	2.8%
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.73	76.4%	20.6%	2.5%	0.5%	3.71	77.2%	18.1%	3.4%	1.3%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.53	63.7%	28.0%	6.5%	1.9%	3.61	69.4%	24.1%	4.7%	1.7%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.77	80.0%	17.7%	1.8%	0.5%	3.72	77.2%	18.8%	2.7%	1.3%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.58	66.2%	26.9%	5.2%	1.8%	3.60	67.6%	26.0%	5.0%	1.4%